

記述回答一覧（117件）（記述の表記は、誤字、脱字も原文のまま転記。）

1. 2017年4月～11月末までの期間で、通園する園児の中に貧困世帯で育てられていると思われる園児はいますか。との間に「いる」と答えた施設長が、貧困世帯で育てられていると思ったのは、どのような場面・状況であったか。（33件）

<p>用品の用意ができない（3件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姉の高校進学の際、制服の購入が大変だと聞いた。（母から） 児のゴーグル購入をお願いしたが、給料日まで待つてほしいと言われた。（母から） 母は派遣社員として働いているが、夜・時々アルバイトに行っている。（児から）バス遠足（親子）に不参加との申し出 ・ 園で購入する教材（自由画帳260円）を買わず、100円均一のもので代用する。衣服のサイズ、季節に合ったものを用意できない。持参する白米が、古いお米だったり、冷凍などであり、毎日炊いている様子がない。水筒やカバンが壊れても新しいものを買わない、又は、直そうともしない。保育料の引き落としが、毎月できない。 ・ 母子世帯で入所の際、持ち物など準備が出来ないと相談にみえた時
<p>衣服（6件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服が整わず、何日か同じ服を着ている。給食での食事の仕方が、友だちの皿に残されているもの、落ちていたものまで食べようとするなどみられる ・ 着ている洋服の痛みがひどく、穴が開いていたり、破けている。服をくり返し着ている。 ・ 十分な衣服がそろえられない。（季節・身長に合っていないなど）保育料等の滞納。仕事が定着しない。欠食あり？！（朝ご飯） ・ 貧困世帯なのかと言う判断は難しいが、毎日着てくる衣服や持ち物が洗たくされていなかったり、ボロボロだったり清潔感がまったくない。下着など何日も同じ物を着てくる。朝から元気がなく、朝食をとってこない。給食の食べ方が早い・量も多い ・ 衣服の購入等できないので穴のあいたもの、体に合わない服等着て来る。洗たくができていない ・ 担任の先生が保育中に衣類の様子等から把握
<p>食事（2件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の食べ方（早食い、量の多さ）母の都合で登園できない ・ 朝食を食べずに登所する。不衛生な持ち物・服など。お風呂に入っていない。
<p>支払い・滞納（10件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園オリエンテーション時、教材費1万円以下の支払いができず。翌日まで待つてもらいたいとの依頼があった。この時より注意して対応していくこととなった。しかし、入園して一ヶ月で退園となってしまった。（結局、教材費は未納のままだった） ・ 諸費の遅れや保護者自身の言葉等により。又子ども自身の話から。 ・ 母親より、納金期限の延長を求める話があったとき。仕事を度々、かえる旨の相談があった。等 ・ 保育料、集金の滞納。市からの連絡（生活保護世帯等）衣服の状況等（破れているものが多い等） ・ 保険料の滞納が続き、少額の入金もできない。家賃が滞り、引っ越しを繰り返してふみたおしている。朝ご飯を食べてこない。 ・ 過去に保険料などの滞納があった為。 ・ 集金が期日までに支払う事が出来ない 服装が不潔で、穴のあいている物を良く着ている ※市の保健士との連携の元、予防接種を何も受けていなかったの、計画を立て受けさせている。定職につかせ、フードバンクを利用する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸会費の未納滞納、衣類の汚れ、サイズ違い。要対協の会議への参加 ・ 保険料は常に滞納 新しいもの（衣類など）はほとんどなくいただき物だと思う 集金も遅滞している ・ 保険料や教材等の支払いの延滞があった時。衣服の汚れがみられた時など
本人、他機関からの話（12件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離婚により生活していく為、母親が就業しなくてはという状況で途中入園してきた家庭。カンファレンスの中で擁護ももらえず、実家（母の父、継母、異母弟）の援助もなく、住所が決まるまで住むことだけは許されたが、食事は提供してもらえず母・父方祖母宅で食事をしている。入浴も毎日ということはない。衣服についてもサイズや季節に合っていないという日頃の様子から ・ 市の支援が入っている。 ・ 子どもの様子について保健師に相談した折、家庭の状況についての説明があった。 ・ 生活保護を受けているから ・ 常に両親が家に在宅している 仕事をしている様子がない ・ 保育士からの報告 ・ 他機関との連携において。保護者からの相談にて ・ 母親の話や生活の様子から感じた。子どもの話から、お誕生日のプレゼントを〇〇〇と〇〇〇100均のと話された時。衣服の小さい物や古汚れた物をいつまでも着ていることから。 ・ 市役所より入園時に生活保護世帯であるとの連絡があった。 ・ 既に市役所が把握していて他の機関ともつながっていた為入園にあたり関係機関とのカンファレンスも行った。 ・ 母親がパートで、いくつも仕事をかけもちしている。又、賃金が安く長時間働かないとならないと、母親より話を聞いた時に感じました。（母子家庭）父親が病気のため支援を受けていると本人より聞いた。（父子家庭）服装が同じことが多く、髪も伸びている。入浴していない日もある。 ・ 保健所を欠席することが多く食事面が心配・身なりや忘れ物が多い。

2. 貧困状態にある子どもを発見した時、保育園として十分な対応ができていると感じるかの間に「できている」、「ややできている」と回答した保育士の具体的な対応策。（38件）

保育園内で対応（9件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の要求（購入してもらおうなど）は伝えたとしても、その都度柔軟に対応していく。保護者とのコミュニケーションをしっかりと取り、話しやすい環境作りを意識する。 ・ 諸費を支払い期間を伸ばしたり夏場シャワーを浴びたり（お風呂に入っていない時等）した ・ 母親の就労支援の為の延長保育及び土曜日保育を行っている。昼食時には、本人はおかわりをしたければ出来るように配慮している。登降園時には保護者に声をかけ現場につきさりげなく聞き、困ったことなどを尋ねる。園児については、よく観察し状況を把握し、園内で情報共有を行っている。 ・ 保育所として出来ることを行っている。保護者にうまく伝えるように努力したり服を着替えさせたりして清潔にすることを心がける。
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・今はありませんがその状況をみながら連獲の必要があれば考えます ・延長保育・土曜保育の利用などには制限がありますが、この子どもさんに関しては園にいることが一番の安心安全と考え、できるだけ預かるように配慮などしています。園としてできることには限りがあり、十分かどうかと問われると”わからない”です。 ・金銭面において無理があった為、購入出来ないもの、参加出来ない行事（遠足など）について、出来る限り保護者の気持ちに寄り添い、園で配慮できる事においてはその園児が他の子ども達と同じように生活できるよう関わってきた。その上で、小学校や市役所・児童福祉相談所等とのケースワーク会議等に参加し、情報交換や連携を密に取りながら関わってきた。 具体的には ※遠足代金の支払方法については、相談に応じる（分割）※体育着、園服等については園の物を貸す。 ・支払いについては家庭の都合がつくまで待つ ・相談や時間、集金等、保育に関し柔軟に対応
保護者への対応 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・母への声掛け。給食の際、本児の希望量を食べさせている。 ・実際には該当する子どもはいないが、保育園に気軽に話ができるような雰囲気作りをしたりして、相談にのってあげられるように、日頃から心掛けする。協力できることは、積極的にする。専門機関と連携がとれるようにしていく。 ・保護者とのコミュニケーションを多くとる。虐待の疑いもあったために、話を受け止めたりじっくり話をきいて行政につないできた。
衣服、用品の 貸与 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・園で寄付していただいた体育着や私服などを貸したり、あげたりする。など ・着替えが足りない場合には園の衣服を貸し出す。洗濯を園で行う。給食でおかわりを用意。園児の心のケア。(他児との差を感じないように) ・衣類などの準備できるものは、さりげなくあげる。必要な経費は、なくしてあげる。行政の期間に相談し対応を考えていく。 ・園服等は卒園児からの寄付もありとあるのでそういう世帯には貸与している。
他機関との連携 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と定期的に本児の様子、状況について、連絡をとったり、話し合いを行いながら保育を進めた。(市役所を交え) ・関係機関につなげる ・守秘義務同士として、役場の担当保健師に状況を伝え、行政としての支援を願っている。母が祖父母に遠慮して、支援がなかったの で、主任保育士の判断で、時々児の迎えに来る祖母に「バス遠足不参加を児が残念がっている」と伝えた➡祖母と参加することになった。購入品のお願いは最小限にする。 ・保健師や福祉関係、その他関係機関と連携し対応することになっている。 ・行政側に連絡をとり連携会議等をおこなっていく また、保護者に対しても面談をおこなう ・行政と連絡を取り合い、家庭の状況を共有して、園児にとって良い対応を考えている。 ・現在当保育所には貧困と思われる園児はいませんがいた場合には行政機関(保健師・児童支援担当)と連携をとっていきたいと思っています。 ・市役所の福祉課への相談をすすめることなどの対応を考えている。 ・第三者機関に連絡を取り、連携を図っている。 ・入園の手続きをすみやかにし、行政の方々の指導をあおぎ、援助する

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉保健課へ報告その状態に応じての対策・対応を直ちにとっていく。 ・ 普段から子どもたちの様子など行政（村の保健師、保健所担当）との連絡を密にしており、何か気になることがある場合は訪問して様子を見てもらうようにしている。
子どもへの対応 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の量を増やしたり、おやつのおかわりを作るなどしている。市の相談員さんに連絡を取り合いどうすすめるか対応している。以前通園していた子は母から給料日まで食事が大変という話があったのでフードバンクを紹介しました。 ・ 実際にいない為、わからないが、食事面での対応や保育士の家庭の不用品をあげる等、他児、他の保護者に気づかれない様対応することが出来ると思われます。 ・ 母子家庭なので、母親と時間を取って話し合いをし保育園でさしあげる事が出来る、園服・体操着・鍵盤ハーモニカお昼寝用ふとんなど援助してあげた。
その他 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当保育士が園の洋服を貸し出しし、着替えさせている。 ・ 家庭環境の概その把握はできたが、それ以上のことはできないまま、退園となってしまった。 ・ 現在貧困家庭はいないと思われるが、もし、そういう家庭の子供さんが入園した場合は、出来る限りの対応をしたいと考えているが、具体的には対応策は研修などあれば勉強したい。 ・ 就業を進める. 生活状況を聞きアドバイスをしている. 生活の基本的な事から話をしている 1. 電話にでること 2. 朝9時までには登所すること など ・ 貧困世帯であっても、なくても、出来る支援をしなければいけない。支援方法は、家庭によって違うが、気になる家庭として、行政とも連携しできる手立てをしていきたい。 母子家庭だから貧困ということでもないと思う。母子家庭でも保険料を支払っている人はきちんと支払っている。滞納気味の人は、両親揃っている家庭であり、貧困でない ・ 毎日の生活の中で様々な場面で気づけると思います。例えば、未満児の場合、朝（午前）のおやつなどの食べ方や最底限の持ち物が揃わない等、実際に在園児でそれに該当する子はいませんが、保育の中で限らず気づけると思います。

3. 貧困状態にある子どもを発見した時、保育園として十分な対応ができていると感じるかの間に「あまりできていない」、「できていない」と回答した施設長が、十分に対応できていないと感じる理由（15件）

<p>家庭介入の難しさ（8件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園服やかばんなどの汚れが目立つ時、きれいに洗ってあげることくらいしかできない。経済的に厳しいのかな？と思っても、聞きにくいので、触れないですごしてしまう。 ・ 親の生活スタイルに口出しすると、子どもに嘘をつかせるようになる（食べていなくても食べたと言わせる）ため、あまり言えない。保育所で朝食を与えてしまうと、それが当たり前になり、よけい自分達で育てようと思わなくなるような親の態度が見えかくれする。そういうずるさを持っているが、反面、子どもは児童相談所にとられたくない気持ちも強い。そのため、どこまで対応していいかわからない。 ・ 実際に貧困なのか、貧困ではないが切り詰めての生活スタイルなのか園側で決めることはできない。その為決めつけての行動、行為はむずかしいと考えている。事実であろう世帯があった場合には、関わり、援助は考えていかなければならないと思う。支援の手は必要に応じさしのべたいと思う。 ・ 家庭への関与の仕方が難しい。訪問しても出てきてくれない、電話に出ない等。 ・ 住宅、アパートに住んでいるのではなく住んでいる家も複雑な構成の中で生活している ・ 確実に貧困と決められない為。 ・ はっきりと貧困ということも確認できず、十分な信頼関係ができていない中で、家庭の中にあまり深く踏み込んでいくことはできないところがある。登降園時など顔を合わせた時に、声をかけるくらいである ・ 貧困なのか、保護者の性格上の問題なのか、生活パターンの問題なのか、つかみにくい。ネグレクトなのか…。汚れが気になる、気にならない等・朝ご飯を食べる習慣がなく、子どもにも菓子パンですませる。洗濯物が乾かないから…で済ませてしまう。など。
<p>対応策が不明（1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園として何をすべきかわからない。保育料の納入については、園に届けてくれた際には、快く受け取るようにはしている。朝食を食べていない様子ときは、午前のおやつを多めにしている
<p>その他（6件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までそういう状況の子どもがいなかったから。今後は考えていかなければいけないかと思っている。 ・ 親子さんの頑張りを見守ることしかできない。 ・ 今まで貧困世帯の子どもを受け入れた経験が無いため、具体的な対応策を講じなかったため。 ・ 親ごさんから言うてくることはまずないです。又、職員からも「朝ごはんを食べていないかも？」くらいの話は聞くことはありますが、それ以上の対応はなにも取っていないのが実情です。 ・ 金銭的支援はできないが集金を待つことくらいだろうか ・ まだ幼児の貧困問題が大きな社会問題と認知されていなく、気づかない人も多いと思う。残念ながら当園もそのひとつである。前向きに対応したい気持ちは大きい。

4. 子どもの貧困に関連して、行政や外部の専門機関と連携した事例 (31 件)

外部機関との 情報共有 (18 件)	<ul style="list-style-type: none">・ 家庭状況については保健師と連絡を取っている。児の入園は保健師の紹介によるもの (4ヶ月児) だったこともあり、健康受診等から連携している (現在5才)・ 家庭相談員、保健師等につなげる・ 子ども (兄弟含む) に関係する保・小・中の食飲、保健師、ケースワーカーなどの方と定期的に会議を持ち、情報の共有、すり合わせを行った事があります。・ 子育て支援課、児童相談員、保健師さんなどに相談できる。・ 市と連携をとり、情報を共有していく。・ 市の児童相談員、福祉課と連絡を取り合い登園の状況などについて報告を行っている。・ その時々、市の子育て支援課の担当と情報交換したり、気になったことがあれば問い合わせたりと言うことは出来るということはある。(特にこれといった事例はあげられないが)・ 母子であるため、保健師と連絡を密に取り合っている。要保護児童になっているため、外部の専門機関との連携はつき一回の報告をし情報提供している・ あります。町で要対協会議開催1ヶ月に1度情報共有・ 気になる子どもがいた場合には、保健師に相談し機関につなげてもらう。(今のところ事例はないです)・ 気になる子は常に保健師と連携をとり家庭へ指導してもらったり医療機関へつなげてもらえる。・ 児相や市保健師と、世帯についての状態を連絡しあっている。詳細については守秘義務、個人情報により具体的に記入出来ない・ 市の子ども支援課や健康衛生課と連絡を取り合ったり、必要の場合カンファレンス等も行ない、情報共有をしながら対応している・ 市の子育て支援課に家庭相談員がいるので連携するとすれば一番最初はそこかな…と思います。・ 日頃から市役所と連絡を取り合っているため、その中で相談という事でお話をさせていただいています。特に相談員さん保健師さんなどが家庭訪問をしていただいた話を聞き、仕事の都合で朝開園前に出勤をしなければいけない家庭などは早番で対応し、仕事に行けるように、又、園をお休みしないようにしています・ 人づてに、当該児の生活のことについて、園長の耳に入り、ネグレクトと思われるため、市の虐待窓口にしらせた。住居であるアパートの隣部屋の家庭に、子供だけで、” 食べものちょうだい” ” おなかすいた” など訪ねていく。又、ひとたび隣家にあそびに行くと帰ろうとせず、もう遅い時間 (21時頃) だからと送っていくと、母は不在で、どこにでかけていたかもわからないこともたびたびあるなど。子どもたちは表情に乏しく衛生的でもない。隣家からの通報はなく、又聞きではあるが、園児の通う施設長の立場で相談した。・ 保育料の未納案があれば相談することがある。ただ収入はあるが遊びに使ってしまうなど、お金の優先順位が考えられない家庭が大抵。現実に食べる物もなく困るという家庭は今のところない・ 町の保健師との情報交換をしている。
--------------------------	--

<p>その他（13件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状、連携を行ったことはありませんが、あきらかに困っている様子が見られる場合には、子育て支援課に報告する等の連携を行っていかうと思っています。 ・ 市が介入しているご家庭は、どのような支援を誰がするのか役割を調整しています。（園からの直接の支援等をあまり望まないご家庭に、必要な衣類や用具等を一度市に寄付し、それをご家庭に提供するという形をとることもあります。 ・ 保健師と連携して見守ったり配慮している。 ・ まだアパートの家賃など45万ほどあり、高いアパートにいる事はやめて引っ越しをするよう進めている。 ・ 今現在貧困家庭はいないが該当する子が確認された場合、まず子どもに対し適切な関わり（栄養状態の把握、体の清潔など）をし、他の関係機関と連携し対応していく。 ・ 今のところ、貧困の度合いの高い子はいません。絵本代等の現金徴収がやや遅くなる程度です。 ・ 気になる家庭、子どもについては行政・専門機関と連携している。 貧困ではないが、食事に関して言えば、朝、車の中でパンをかじりながら登園したりを目の当たりにする事が多く、朝しっかり食べているかどうか、とても気になる。その分では園の食事はとても大切なものになってきている。 ・ 虐待・貧困に関しては行政（担当課）との連携において対応する事になっています。（安心子育て支援対策協議会）（要保護児童対策地域協議会）がありますが現在事例がありません ・ 公立なので、市からのインフォメーションでフードを集める取り組みなどについて情報が入ってきます。ですので、職員には周知する様にして、この事業の取り組みにすこしでも協力できたのではないかと考えています。 ・ 母親のストレスなどから療育相談を利用している保護者がいます。お金に困っているのか？外からはわからない部分があります。子どもの送迎にも笑顔で行っているのかわかりません（困っている様子ではない） ・ ひとり親ネットへのバザー用品の提供 ・ 夫婦間の感情、金銭的な事情により、子ども達が安定し生活出来ないケースがあった。小学校、市役所、児童相談所との連携を行って来た。 ※母親の離婚、再婚のくり返しにより父親の違う子ども達が安定しない環境の中で生活していた。 ※言葉による暴力、手を出しての暴力もあった。 ・ 保育料の滞納が続き、保育の継続が困難になる様なケースでの家庭訪問
-----------------	---

回答一覧 (1057 件) (記述の表記は、誤字、脱字も原文のまま転記。)

1. 園児が貧困世帯で育てられていると思ったのは、どのような場面・状況であったか。(現在担当しているクラスだけでなく、他のクラスや過去の経験も含む) (622 件)

衣服(186 件)	
汚れサイズ違い 綻び臭い (182 件)	<ul style="list-style-type: none">・ 一週間以上同じ服を着て登園する子がいた。(洗濯もされていない服で)・ いつも同じ服でいる。汚れていてもしばらく同じ服 季節の変化があまり見られない。・ 衣服に穴があいていたり、ゴムがのびたりしていても直さずに着ている時・ 衣服に穴があいている状態でも着て来る。第一子だが、古着(もらい物)を着ている。・ 衣服のサイズが合っていない。靴に穴があいている・ 衣服のサイズが合っていない。同じ服を着てくる。季節はずれの服を着ている。・ 衣服の汚れが目立つ 水筒が汚れていて不衛生 午睡用の布団が汚れている・ 衣服の汚れが目立ったり、寒くてもわりと薄着 サイズの合っていない物をきてくる・ 衣類がカビている サイズのあっていないものを着ている。着替えていない(何日も)・ 衣類が全て頂き物で、毛玉や伸びてしまっている物も多かった。・ 園服が洗濯されず、それを着用して登園している所。服がいつも同じもの、においがする。・ えん服が汚れていても3,4日洗濯をしていない同じ服を着ていることがある・ 同じ園服を汚れてもそのまま何日も着ている。着替えを持ってきて欲しい事を伝えてもそのまま持ってこれず、保育所の着替えをかせてあげても戻ってこない(オムツも含む)・ 同じ服を着ている。洗濯していない。汚れている、シワシワ・ 同じ服を着てくる・ 同じ服を何日も着る。(洗濯している様子が見られない)・ 同じ洋服を何日も着ている。季節に合わない服装をしている・ かばんが汚れている、中から砂がでてくる。着替え袋の衣服が汚れており、ごみや砂がでてくる。(家庭から持ってきた際)・ 体に合ったものを着ていない。いつも汚れている。・ 体の大きさに合っていないおさぎの服(大きすぎる)・ 体や季節にあっていない服装をしている子が多い うわばき、エプロン、土ようカバンなど持ち物の不足・ 季節に合わない服(冬に穴のあいた薄いズボンなど) お風呂に入っていない・ 季節に適した衣服を着用していない。(冬なのに薄い生地ロンTシャツなど)・ 給食セット(食器具)が洗われずに次の日にも持参していた。衣服も汚れたままで体臭もある。・ 衣替えがしてなくて、冬季でもロンT、七分丈ズボンなど、もちもの(水筒汚れている、タオルなどカビている)

- ・ サイズが体に合っていない下着に穴があいている
- ・ サイズが小さい。衣服から異臭がする（持ち物全てがたばこのにおい）（体からもたばこのにおい）
- ・ サイズの合わない服を着ている 入浴をしていないのか、匂いがきついことがあった。
- ・ 全身タバコのにおい。サイズの合わない服を着てくる（買ったものではない）。ヨレヨレ感。下着シャツの汚れがひどい。
- ・ 昨日着ていた服を翌日も着てくる。洗濯されていないと思われる服がカゴに入っている
- ・ 白い体操着等が他の子と比べて黄ばんだり黒ずんだりしている。おしぼり用のタオルがカビているのにそのまま使用し続けている。靴下が左右で種類が違うものを履いている。
- ・ 前日に着て帰った洋服で次の日登所するサイズの合わない衣服や靴を着用している。
- ・ 洗たくをせず、同じ下着・服を着てくる。着替えが用意できない。
- ・ 洗濯をせず、汚れがそのままである。連続して、同じ服を着てくる
- ・ 小さくなった服の首の所を切って、着ていた。スタイにカビがすごい。サイズ季節が合っていない服を着てくる。
- ・ 小さくなった服の首の所を切って、着ていた。リュックサックなど持ち物の、汚れや破れているのが目立つ。
- ・ 小さくなった物を着ていたり伸び切っている衣服。洗たくされず前日と同じ物を着ている
- ・ 夏の猛暑の中もお風呂に入れず、体が汚れていたり臭いがきつい。いつも穴のあいた服や靴下をはいている。ボロボロになった上ばきを買ってもらえない
- ・ 何日か続けて同じ服を着ている。体のサイズに服があっていない。清潔感がない
- ・ 何日も同じ服を着てくる 汚れとにおい
- ・ 何日も続けて同じ服をきている。衣服が汚れている
- ・ パンツに便がついていたり、園から持ち帰った物を洗わずそのまま持ってくる。
- ・ 服が清潔ではない。体が大きくなったにもかかわらず、小さいサイズの服を着ている。
- ・ 服の口まわり、そでまわりがヨレヨレの物を日常的に着用している。下着が薄くなっていたり、黄ばみもひどく同じ物の着用が目立つ。気候や気温に応じた服装をしていなかったり、枚数着ていない。夏服にカビが生えている。
- ・ 布団等が洗濯されず汚れているサイズがあっていない
- ・ 冬でも夏のワンピースを着ていたり、いつでも薄着でいる。ズボンの丈が短いものをはいている。
- ・ 冬なのに薄いTシャツだけで来たりサイズも全く合っていない為家にある服を自分で勝手に着たり、汚い。
- ・ 冬なのに丈の短くなった服（上下）を着ている。
- ・ 底のとれた靴をボンドではりはいてきた。カバン・靴など汚れていたり、壊れている。
- ・ 動物を飼っていて、持ち物が臭う。
- ・ 母子共にいつも同じ服で、冬の防寒着がない。園で貸した洋服を返さず、自分の家の物にしてしまう。
- ・ ほとんど毎日同じ物を着ている。のびてダラダラしてしまったり、体に合わないものをいている
- ・ 枚数があまりない。ピナピナで小さくなくても着ている
- ・ 毎日汚れた服をきていたり、サイズの小さい服を着てくることがある。

- ・ お弁当をもって来る事がり、少ないおかずとごはんであった。(量がたりない)
- ・ 汚れていたり、穴のあいた服を着ている
- ・ サイズの合う服が少ない
- ・ 汚れているように感じる。清潔感がない。
- ・ タバコのおいが染みついている。洗濯したにおいと違う。
- ・ 穴があいているものをずっと着ている
- ・ サイズがあってない
- ・ 穴があいた靴下やズボンを何度もはいてあまりに穴が大きくなったので縫ったことがある。
- ・ 穴のあいたズボンをはいて登園する
- ・ 穴のあいた服をずっと着ている。清潔感があまりない。
- ・ 姉弟が多いためおさがりが多い 衣服の状態もあまり良くない 季節関係なく半袖やノースリーブが入っている
- ・ 姉のおさがりがほとんどで、洗濯はしているようなのだが、下着が黄ばんでいたりする。また、サイズが合っておらず、ゆるゆるだったり、小さかったりする。ジャンパーの袖で鼻水を拭いたりする為、汚れが目立つがそのままだったりする。
- ・ あまり洗たくしてあるものがきれいではない。同じ衣服を何日も着てくる。
- ・ 1日おきに来てくるので、汚れが目立っていた
- ・ 一ヶ月に1度だけの入浴 洋服の洗たくがされていない。
- ・ いつも同じ服を着ている。使い回しが多いのでほころびを感じる
- ・ いつも同じ服を着ていることが多く、やぶれてもそのままなことが多い。
- ・ いつも同じ、汚れている 園を休みがちだった あまり話さない
- ・ 衣服がいつも同じ 髪の毛がクチャクチャで身体の汚れがある
- ・ 衣服が黒ずんでいる 穴が空いたものを何度も着用している。
- ・ 衣服が洗濯されていない
- ・ 衣服が臭う、洗っていないような汚れ
- ・ 衣服が汚れていた。臭い
- ・ 衣服が汚れている。穴が開いている
- ・ 衣服に飼い猫の毛がついている。洗濯されずにおいがきつい
- ・ 衣服に清潔感がない。季節に合った服を着ていない時があった。
- ・ 衣服の数が少ない (家庭に長そでがないので持ち帰りたいと言われた)
- ・ 衣服のサイズがあってない (小さめ)。衣服が伸びきっている。スタイにカビがはえている…
- ・ 衣服のサイズが小さいが、新しく衣服を買っていない。
- ・ 衣服のおいが気になった
- ・ 衣服の綻びがあり、着がえの補充なし

- 衣服の汚れあり
- 衣服の汚れや何日か同じ服を着てること
- 衣服は洗ってあるようだが、体格に合わない物（大きすぎる）を着たり、前かけのゴムがのびきっていて何度話しても交換してくれない
- 衣服は毎日違ったものを着てくるが、園服は洗っておらずしみだらけ。もらい物が多いようで体型にあったサイズの物を着ておらず、ズルズルしている
- 衣服は汚れ、いつも同じようなものを着用し、洗濯している気配があまり見られなかった。
- 衣服やカバンが汚れている。 何日も同じ下着を着ている。
- 衣服や持ち物の汚れや黒ずみが目立ちたばこの臭いが強い 明らかに体格に合っていない衣服を着用している
- 衣服汚れていたり、やぶれていたり、サイズが小さいものを着ていること。
- うわばきなどが洗った様子がない。同じ服を連続で着てくる。気温に合った服装でないことがある。
- 園指定の持ち物をそろえる事ができない。ハンカチ、ランチクロス、Tシャツ等すべて1枚のみで、洗濯はしているようだが、毎日同じ物を持ってきている為、汚れがひどい。Tシャツは大きくなってても着られるようにする為か、155cm前後の身長に対し、160cm サイズのものを着ている。
- 園服が洗ってなかったり、給食用品が洗ってない時がある
- 園服がひどく汚れていた時 何日間か同じズボンをはいていた時
- 園服が毎日同じ物で洗っていないのか黒くなっているが買いかえない（過去には）
- 園服の汚れがいつまでもあり、黒ずんでいる。洗ってあげると黒い水であきらかに、今まで洗ってないことがわかるほど。
- 園服は1枚で、一週間同じものを着てくる。衣服のサイズが合っていない。（頂きもので対応しているため、極端に大きい時と、小さい時がある）うがい用のコップは洗わず持ってくる。
- 大きな穴が空いた肌着、ほころびのあるズボンなど
- おさがりの服を常に着ている。敷ぶとんの代わりに掛け布団を使っている。
- 同じ衣服を洗濯せず毎日着てくる。食事エプロンがゴムが伸びたままだったり汚れたままである
- 同じ衣服を何日も着ていたり、サイズの小さいものを着ている。穴のあいた物を着ている
- 同じ服ばかり、サイズが合っていない、季節感がない
- 同じ服を着てくる タバコの匂いがひどく洗濯されていない感じがした
- 同じ服をきてくる。
- 同じ服をきてくる。保育所で貸した服を着ている（返却がない）
- 同じ服を好きだからではなくよく着ていたりサイズが合っていない。
- 同じ洋服で登所したり、しばってあるゴムと髪の毛の間にホコリがたくさんついていて、おフロに入っていないと感じた時。
- お風呂に入っていない様子があった
- お風呂に入らず、洋服は毎日同じもの 園服も洗濯していないなど多い。夏など髪の毛 身体にあかやフケなども多い。

- ・ オムツが毎朝パンパンで替えてない為おしりが赤かった。
- ・ カビだらけのおしぼりやスタイ おさがりがボロボロ
- ・ 体のサイズに合っていない服を着てる。穴かきややぶれている服、ズボン等を着てくる。
- ・ 体のサイズに合っていない服の着用をしていることが多い。
- ・ 昨日と同じ服を着ている
- ・ 兄弟が多く、洗濯をほとんどしていなかった。園服袖口が真黒になっていた。ズボンのひざのところが穴があいたものを履かせていた。
- ・ 兄弟のお下がりには良いが、あきらかに身につけるには汚れ、綻び、生地がいたみすぎていると感じたことがある。
- ・ 兄弟のお下がりを着ているが、古さが目立ち、本児自身着たがらないことがある。
- ・ きれいに洗濯はされているものの、着替えのストックが少なく、園の物をお貸しすることが多い。また、寒い時期でも薄手の物ばかりで寒そうである。
- ・ 靴下に穴が開いているのにもかかわらず、毎回履いている（下着等も）服のサイズが合っていない（ズボン、長そで etc）
- ・ くつのサイズがあっていなかったり、くつの汚れや穴が気になった。同じ服をいつも着ていたり、汚れやにおいが気になった。
- ・ 毛玉や汚れが著しく目立つ衣服を短いサイクルで頻繁に着ている。
- ・ 子どもの体にあったサイズの服を着ていない。
- ・ 子どもの身体に合っていないサイズの衣服が多い。忘れ物が多く、園の衣服をかすことも多い。
- ・ 子どもの体に合わない衣服やゴムがのびたり、ボタンのないものを着用していたり、清潔ではない
- ・ 子どもの体にサイズが合っていない
- ・ サイズが合っていない、小さな服を着ていたり、穴のあいているくつ下をよくはいている。
- ・ サイズが合っていない衣服を着ている 汚れている服が多い。
- ・ サイズかあっていなかったり、汚れている。(大きい、小さい、もらいもの?)
- ・ サイズが合わない服を着ていたり、とてもよごれている日がある。
- ・ サイズが小さい
- ・ サイズが小さい服を着ている。汚れている衣服が多い。
- ・ サイズの合っていない 綻びのある服を着ている。
- ・ サイズの合わない衣服を着用している
- ・ サイズの合わない服を着ている姿が多かった
- ・ 下着やパンツを含め、服がヨレヨレしたりしみがついたお下がりのもの。くつの底がとれかかっている。
- ・ シミだらけの服を着てくる
- ・ 食事の時に使うエプロンやタオル等洗ってこないことが多い。
- ・ 所持品が汚れている
- ・ 数日同じ服装、洗濯がしていないと思われる。

- ・ 数日同じ服を着てくる 兄弟間で同じ服を着回す（サイズが合ってなくても着てくる）
- ・ 全てのものがおさがりやもらいもの、ボロボロになっていても使用している。
- ・ ズボンのゴムが伸びきっている。子どもの体に合わないサイズの服。着替え用で持参した衣類が、以前外遊びで汚れて持たせたままの状態であった。
- ・ 前日、着ていた衣服をそのまま着ていたり、穴が開いているものを着ている事もあった。
- ・ 前日の物を着ている事があったり、衣服の汚れや臭うことがあった。
- ・ 洗濯がされていない。服が臭い。サイズが合っていない（小さかったり、大きかったりする）
- ・ 洗濯しても汚れている もしくは洗濯されていない
- ・ 洗たくはされているようだが、着丈が下着を含め、どれも短く、サイズが合っていない。季節感がなく薄着である。くつ下もかなり小さく、穴があいていることもある。
- ・ 洗濯は数日に1回で前日の汚れはあたり前になっている。着てくる洋服はうすくなっていたり、すり切れているものも多い。
- ・ 洗たくをしないのか、毎日、同じ服だったり汚れた服を着ている
- ・ 体操着、着用になっているが、昨日の汚れが次の日も合ったり、私服がいつも同じ
- ・ 他人からもらった衣服（男児なのに女兒用 etc）かなり古い衣服で洗たくはしてあるだろうが汚れている。
- ・ 小さいサイズの服を着ている
- ・ 小さくなった服や穴のあいた服をいつまでも着ている
- ・ 小さくなった服を着ている
- ・ 朝食を食べた後、そのまま登園することが多く、衣服に食べこぼしたしみがついたまま登園することが多々ある。
- ・ 手元がびろびろになっていたり、シミが目立つが、その服を2日に1回のペースで頻繁に着ていたり、スタイ（食事中エプロン）がカビているにもかかわらず使い続けている。
- ・ 何日も同じ服を着ている。前日の給食で付けた汚れがそのまま付いている。
- ・ 何日も同じ服（園服）を着用している。シミ・カビが多く見られるスタイ、食事用エプロン、口拭きタオルの使用
- ・ 何日も同じ服や下着を着ている。
- ・ 何日も同じ服を着用、臭いがひどく、登園後すぐに、園にある新しい服を着させる。着ていた服はすぐに洗たくする。
- ・ 何年も同じ服を着ている。
- ・ 臭う、同じ服
- ・ 初めての入園だったが、持ち物が全てきれいな物とは言えないものだった。
- ・ ひざに穴があいていたり、すそにほつれがある。またサイズの合わない服を着ていてゆるい等が多々見られる。
- ・ 貧困とまではいかないが、体のサイズより小さい服を着ている。
- ・ 服が洗っていない（汚れがおちていない）物を毎日のように着てくる
- ・ 服のサイズが小さいままだったり、なかなか新しいものを着てこない。
- ・ 服のサイズと体が合っていなかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服を着替えてこない お手拭き等汚れている ・ 古着で汚れていたり、ほつれているところがあった。 ・ ほころびがひどくすこし小さめの服を着ていて、声をかけても、同じものを着てしまう。 ・ 毎日、同じ服を着ている。洗濯をしていない。 ・ 毎日同じ服、下着 汚れがある 朝ごはん食べない ・ 前かけやおしぼりが汚れている。新しいものに交換してくれない。 ・ 未洗濯 ・ 持ち物について、不十分な準備のため、毎日のように子どもが困まっている。 ・ 持ち物に独特の臭いがある。 ・ 身体のサイズに合っていない服を着ている。 ・ 持っているものが汚れていたり、サイズに合っていないでも新しいものにならない。服のにおいや汚れが気になる。服がやぶれていても（ひどく）着せてくる。服の種類やローテーションが同じである。洗濯をお願いしてもかわらない ・ 洋服、持ち物全ておさがり。新品購入はほぼ無い。ウエストゴムがのびのびでズボンがいつも下がっている。 ・ 洋服が洗たくされていない。 ・ 汚っていないと思われる園服（服は全てもらいものだと感じた ・ 汚れたお下がりの服を着ている。エプロンなど汚れても交換しない ・ 汚れていたり、サイズが合っていなかったりする。やぶれていたりする又それを繰り返して着てくる。冬なのに夏物を着ている。 ・ 汚れや綻びがひどく、サイズのあっていない衣服が多い。 ・ 同じ服・ズボンを連続で着用してきた
<p>ネグレクト (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困かどうかはわからないが、親の価値観からなのかとも思うが汚れがあつたり衣服が少なかつたりする子がいる。
<p>その他 (3件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (汚れ、綻びではないが、園への置衣類が不足で、度々園のものを貸す) ・ 朝登園時シャツがでている。口の周りが汚れている。園服のボタンがとめてない。くつをしっかりとはいっていない等。小さな時は、サイズの合わない服を着てきた事もある。 ・ おしぼりや給食時に使用する前掛けなど、長時間使用している為黒ずみがみられる (貧困のためではないと思う)

行動 (回答数 : 84 件)

食事の様子
(47 件)

- ・ 朝ご飯を食べてこないのに、給食をよく食べる。
- ・ お腹が減っているらしく、とにかくよく食べ、人の物も欲しがる。
- ・ おやつた食事の食べ方が他のこと比べガツガツ食べたり、落ち着かない
- ・ 給食おかわりを毎日する。食べたいの気持ちが強く、最後のひと口を大切に食べる。
- ・ 給食の時間にかきこむように食べる。
- ・ 給食の食べ方が異様に急しい 又はニオイをかいだり、食べ方を知らない。
- ・ 給食やおやつ時間にかけ込むように食事をする
- ・ 給食やおやつをすごい勢いで食べ始める 量が給食量だけでは足りず泣く
- ・ 給食やおやつを楽しみで、よくおかわりをする。
- ・ 給食をむさぼるように食べたりおかわりを何度も欲しがる
- ・ 給食をよく食べおかわりもするが、拾い食いをし、それがなかなかおらなかつた時。
- ・ 食事の時におかわりの量が大量であったり、落ちたものまで食べようとする。落ちつかない。保育士に必要以上にベタベタする
- ・ ちびちび食べる。他人との区別はついているが、見ていない時に手を出す。おかわりをくれるまでその場から動かない (おかわりがないと泣く)
- ・ 昼食の食欲が異常で、朝食を食べて来ないのではないかと思われる様子。ほぼ毎日
- ・ 朝食を食べないで登所し、保育士の机の中を探し、お菓子を見つけようとする。給食をものすごい勢いで食べる。あっという間に食べ終わる。
- ・ 年中児くらいだと、周りの子の反応を気にする。給食は、何でもガツガツ食べてあまりかまない。
- ・ みんなで使う物をたくさん取って独占する。給食で自分よりも多い皿と勝手に交換する。
- ・ 床に落ちている、おやつや、給食を食べてしまう。食べ終わった食器をなめる。(その子によるが) 乱暴な行動
- ・ おなかがすいていて、朝から、ゴロゴロしている事が多い。給食、おやつはよく噛む事もせず、あっという間に食べる。
- ・ お腹が空いて機嫌が悪い
- ・ おなかがすきすぎて、自分の分の給食だけでは足りず、他児の食べこぼしを拾って食べていた。
- ・ 給食が出てきた瞬間にガツガツ食べ始める。
- ・ 給食時、おかわりの回数が多く沢山食べる。
- ・ 給食のおかわりを異常に欲しがった。
- ・ 給食やおやつ (食事) はよく食べる
- ・ 給食やおやつにガツガツしている。おかわりをよくする。
- ・ 給食やおやつ残さず食べ、おかわりを欲しがる
- ・ 給食やおやつをよく食べる。(何度もおかわり) 時には床に落ちているものを拾って食べる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食をかきこむように食べる。 ・ 給食をガツガツ食べる ・ 給食をたくさん食べる。食に食欲。友だちのを触ったり、職員のを食べたがる。 ・ 給食を飲むように食べ、おかわりを何度もしたがる。 ・ 給食を早く食べる。 ・ 給食をよく食べた。持ってきている白飯の色が気になったり、固かったりした。 ・ 食事の食べ方ががつついて食べることがある ・ 食事の時にむさぼりつく。落ちている物を食べようとする。 ・ 食事のマナーが身につけていない ・ 食事を勢いよく食べる。空腹が満たされずにたくさん食べる。 ・ 食に関して異常な食欲さ。おかわりがないと崩れ落ちて泣く。床に落ちている食べかすや自分の足の裏についたごはん粒などちゅうちょなく口へ運ぶ ・ 食に関しての執着が強い。 ・ 食べ終わったお皿をなめている。 ・ 食べ物が下に落ちていると捨って食べる 食べ方が早い ・ 食べ物に対しての執着心が強い ・ 食べ物をがつがつ食べ、他の子の分まで食べたがる。 ・ 食べることに執着することが多く、床に落ちている（他の子が落としたもの）ものまで食べようとしていた。 ・ 食べる事への執着心 ・ 貧困である為か分からないが、朝食をとってこない日が多く、給食時の食欲がすごい。食べるペースが早く、おかわりもたくさんする。
<p>他者への言葉づかいや対応 (9件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛情不足により必要以上にスキンシップを求める ・ 言葉や行動が荒くなる。保育士の見ていないところでいたずらなどをする ・ 子どもの要求が強くトラブルが多い。人恋しさのためか関わりを求めすぎる ・ 集中力がない。下の兄弟の世話をさせている。馴れ馴れしい所がある。給食やおやつを必要以上にほしがる。食べるのが早い。 ・ 他児と関わって遊ぶのが上手くない。一人遊びが多い。 ・ 不安定な精神的状態を行動であらわす。(暴力、突然癩癩をおこす) ・ 愛着行動 ・ 言葉が少ない、友だちと遊ばない ・ 他児への被害(かむ、たたくなど)、自分のことを見てというアピールが多い 情緒不安定

万引き (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちのハンカチやキーホルダーなどを持って帰ってしまう。 ・ 保育士の机の上にある物をポッケにしまってしまう。顔、衣類の汚れが全く気にならず鼻水をたらしたままだったり、ひどい汚れの服も平気で着ている。汚れたら着替えるという考えがない。
その他 (26件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠慮がち。おどおどしている ・ 落ち着きがなく、イスに座ってられない。 ・ 寒くなってきて布団がなく祖父宅からもらってくる。園の広告紙などを必要以上に自分の所にかかえこむ。役場、支援センターへ行った事を話してくる ・ 日中、元気がない、ぼーっとしている。 ・ 表情が乏しい ・ イライラしやすい。気持ちの立ち直りやちょっとしたことでキーっとなる。 ・ 怒りっぽく、手が出ることもある。保育者に少し声をかけられるとにらみ、椅子に座らない、偶に隠れる、物にあたることもある。 ・ 落ち着きがない ・ 落ち着きがない。行動が粗暴 おやつや給食などガツガツ食べる。大人の言う事を聞かず自分勝手な行動をする ・ 落ち着きがない。拾い食いをしようとする ・ おちつきがなく、目つきがきになる ・ 落ちつきのなさが目立ち、情緒の安定に欠ける ・ 大人にすぐ近寄り物がほしいと求める ・ 親がいる時は静かになってしまったり、甘えたい気持ちを我慢している ・ 髪の毛をねじってからめたり、常に口に手や物を入れている。 ・ 感情の起伏が激しい ・ 気性が激しい ・ キャラクターやTVの内容の会話についていけない 疎外感を感じている様子 ・ 情緒不安定。気持ちが荒れやすい ・ 情緒不安定である。(気分の浮き沈みがある) ・ 常に大人の目を気にして行動していた。落ち着かない。大人の話していることにすぐに反応していた。 ・ 爪をかむ ・ 登園時寝ながら来る。 ・ 表情に笑顔が少ない ・ ボーっとしている子もいたり、それとは反対に落ち着きのない子もいた ・ 水をいやがり、お風呂も毎日入っていない様子。

子どもの話 (46 件)	
家庭状況 (14 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「お金がないから～」とよく言う ・ 「お金がないから〇〇は買えない」「〇〇は高い」 ・ 「お家の屋根が風でとんじあったけど直せないの」とか「おフロがこわれてるから、時々入るの」など。 ・ うちにはサンタさんがこない。お正月に来ると言っていた。 ・ お風呂に今日は入った。入らなかった。 ・ お休み中の話題の時に「どこにも行ってない/うちにいた」と話す。 ・ 夕食を家庭で取っていない様子で近くのスーパーのパンを食べている。車中泊をしている。 ・ お風呂には、兄弟二人ではいることが多いようだ。入らないことも多い。 ・ おふろに毎日入っていない ・ 親が子に話していることを保育士のも話す。お金がない、ご飯食べてないなど ・ お金がない。服・くつを新しく買ってもらった ・ 行事が家庭で行われぬ。色々な経験不足 ・ 子ども手当が入った後に新しい洋服などを買ってもらった事をとても嬉しそうに伝えてくる (繰り返し) ・ 何かを用意してもらう際、「うち、お金ないから買えない」と言う。
欠食 (24 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ” ちょうだい” が多い マイナスイメージの言葉が多い ・ 「朝ごはんを食べていない」と言い、給食を沢山食べている。 ・ 「お風呂入ってない」「朝ごはん食べていない」 ・ 「今日、ごはん食べてこなかった」と朝、言う日が多い。 ・ 家庭での食事状況 (おかずが出ない、ほとんど食べていない) を話す。 ・ ご飯を食べてこなかった事を訴える ・ 食事をしてこなかったこと。兄弟でるすばんしていたこと。おふろにはいらなかったこと ・ 食べてきたものを聞くといつも「ふりかけごはん」 ・ 登園してから「おなかすいた」と言うことが多く、「朝なんにも食べてない」と話す日がたびたびある。 ・ 日々の食事の内容… (例) 白飯のみで、お腹が満たされぬ時は水道水 ・ 毎日の食事内容が変わらない (何回きいても同じメニューである) 自分がしたい事、行きたい所など妄想を話す事が多い。保育士と一緒に行く (帰る) と何度も言う。ママはご飯をつくらぬでタバコをすっている。ばあば (認知症) がしたくしてくれる ・ おなかすいたと活動中に言う ・ 子どもの機嫌が悪い時に朝ごはんを食べたか聞くと、「たべてない。なんにもなかった。」とよく答えていた。 ・ ご飯食べていない。お腹すいたと言う ・ 食事がインスタント ファストフードで外食したことを、とても喜んでいた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事がまともに摂れていない。 ・ 食事をしていない、もしくは主食一品等 ・ 食べた物の話 例)「朝はパンだけ 夜もパンだけ食べた」 ・ 朝食欠如 ・ 朝食は食べてこないとの会話がある。 ・ 朝食を食べてこなかった ・ 何を食べたか聞くと、「おにぎり」「パン」と答えることが多い。 ・ 箱で食べ物がきたこと等を話してくれた。 ・ レトルトカレーをよく食べている
その他 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊園地に行ったことなど、夢と現実が一緒になる ・ 話題が決まりきっている。 ・ 言葉が遅い。 ・ 言葉がはっきりしないが、バカなどの良くない言葉が出る ・ 他児が週末出掛けた様子を話す中、スーパーへ出掛けたことくらいしか話に出ない。または、出掛けていないのに～へ出掛けたとウソをつく。 ・ 父、母が夜家にいないこともある ・ 話し方が幼稚であったり、言葉数が少ない ・ 母親が、夜の仕事をされていて、夜「おきやのお母さん」にあづかってもらっている時の話をする。

体格 (57件)	
細身・小柄 (46件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子柄 細い ・ 身長は低い体重はある ・ 体格が細い。やせている。 ・ 体重増加せず、やせ型 ・ 体重や身長が平均に満たない ・ 同年齢の子どもに比べるとやせている。 ・ とてもやせている ・ 平均体重や身長よりも小さい。 ・ 細い ・ やせている ・ やせている。

- ・ 痩せている。皮膚に張りがなく、一年中乾燥している感じがあった。
- ・ 同じ年齢の子どもよりも体重が少ない、体が小さい
- ・ 給食はよく食べるが体は細い。
- ・ 健診にて低身長を指摘された（成長曲線からはみだしている。平均以下）
- ・ 小柄
- ・ 体重が増えない
- ・ 体重の増加が見られない
- ・ 小さい
- ・ 小さく補足、体重の増加がみられない。
- ・ 小さめ 髪と整えられていない。
- ・ 低身長、低体重であり、朝食を殆ど食べずに登園していた。
- ・ ひどくやせている
- ・ 標準より細い子である
- ・ 平均体重より低く、増加がみられない
- ・ 細い。動きが悪い。
- ・ 細い。つくべきところに肉がついていない。
- ・ 細身
- ・ 細せている。
- ・ 細身
- ・ 細身、色白
- ・ 細身～普通
- ・ 周りの子に比べて細い。
- ・ やせ型
- ・ やせ型
- ・ 痩せ型
- ・ やせ気味
- ・ やせすぎているように感じる。医師の診断を受けてほしいと伝えられても行かない。
- ・ やせている
- ・ やせている
- ・ やせている（やせ気味である）
- ・ やせている。
- ・ やせている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 痩せ細り、低身長 ・ やや小柄である ・ 割合に他の子に比べて、体重・身長伸び率が低かった。
肥満 (8 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスが悪い物を食べたりしているので、太っている。 ・ 胸がへこみ、おなかが出っぱっている 背は低いが体型は肥満 ・ 小さい。あるいは肥満。 ・ 腹が非常に出ている。 ・ ファストフードばかり (お弁当も手作りではない) 太りぎみ ・ 太り気味 ・ やや肥満体型
その他 (1 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体格が乳児体形。(頭が大きく、お腹が出ている。)

体調 (62 件)	
欠食 (6 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ご飯を食べてこない日が多く、朝は元気がない時がたまにある。 ・ 朝食を食べておらず、外へ遊びに行ったが、フラフラと部屋の方へ歩いて戻ってきて、テラスに倒れ込んだ。 ➡園でお茶とクラッカーを食べた。また、親の判断で、週末は胃を休める。と、ジュースや青汁のみで過ごすと話していた。 ・ 栄養が足りておらず、体調を崩しやすい ・ 栄養不良が疑われ、脳にも影響があるように思われた (下痢が続く、赤ちゃんの時は異変を感じにくかったが徐々に障害のチェックが入るようになった) ・ 朝食を食べない。 ・ 保育所での給食をたくさん食べる

<p>医療機関・ 未受診 (23 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お風呂に入っていない。虫歯が多い。病気やケガの手当てができていない。 ・ 顔を洗ってこない。具合が悪くなくても病院に受診をしない。髪型が乱れている（ボサボサのまま、長くなっても切らない）オムツを替えていない（オムツかぶれがひどい） ・ 風邪をひいても病院へ行かない。予防接種をまったく受けない。 ・ 風邪をひいても病院等の受診せず、治りも悪い ・ 口蓋裂による中耳炎の為、耳にチューブを入れるが定期的に病院へ行っている様子はなく、耳から悪臭がした。保育士が気付き受診をすすめたことで改善される。体に垢が目立った。 ・ 肌がガサガサと荒れ、頭部の皮膚がはがれフケのようになっている。斜視のようだが、検査に行かない。 ・ 鼻汁が出ていてもそのまま ひどくなってやっと診断する ・ 鼻水や咳が続いて受診を促しても行かない。子どもや持ち物などがヤニ臭がものすごい（他児のものと一緒にには出来ない）その中で生活していると思うと健康面に心配はある。虫歯が多く、病院にも行けていない（行く気がない）病院に行ったとしても完治する前に行かなくなってしまう ・ 虫歯があり、治療をしていない。体調をくずし、突然倒れる。（貧血症状） ・ 虫歯が多く、又歯が無くて食べずらそうであった。虫歯の治療に行けず痛がる。入浴は週1～2回程度 ・ むし歯の放置でほぼむし歯の診断を受けたり、痛みに耐えられず園生活にも支障があった。 ・ 以前扉に指をはさんでしまい、指がうみ、爪がはがれてしまうことがあったが受診はせず様子をみる形で過ごすことがあった。 ・ 夏期、エアコンがないということで、商業施設に連れ出し、涼む工夫をしてくれるものの、あせもや下痢（水様便）は悪化し、病院受診しても、改善が図れないくらいになってしまう。 ・ 体調が悪くても病院へ行っ診てもらおうとしない。 ・ 体調が悪くなくても、なかなか病院に行かない ・ 歯医者に連れていかない ・ 病院へ行く時間がないのか（仕事が忙しいなど）病気で病院への通院を進めても行くことをしない為、体調が悪化している。 ・ 虫歯があるが受診せず ・ 虫歯が多いが歯医者にいかない。アトピーがあるが、薬を使用していないのか治らない。 ・ 虫歯がひどい。上下の奥歯（計8本）は特に進んでおり、黒くなっている。口臭もある。歯科医を受診している様子もない。 ・ むし歯のお知らせをしても治療にいかない。 ・ 虫歯は多く、治さなかったり、髪はボサボサ。顔を洗ってくる習慣がない。 ・ むし歯だらけ。朝食を食べてない。健診や予防接種をほぼ受けていなかった
<p>アレルギー・ 病気 (23 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アトピー、ぜんそく ・ アトピー性皮膚炎 ・ お風呂に入っていないからか、皮膚衛生が疎かで、発疹が多い。体臭がきつい（親子共々） ・ お風呂へ入ってなく、臭いがきついことが多かった。両親に聞くと「入れる様にはしている」と言っていた。肌があれており、かゆ

	<p>がったり、いたがったりしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に鼻水を垂らし、胸のゼコゼコも絶え間ない。 ・ 爪が伸びたままだったり、風呂に入っておらず清潔が保たれていない。風呂に入れない為、アトピーが悪化してしまう。薬も塗らない。 ・ アトピーの改善が見られない ・ アトピーのようで、体中かきむしり、 ・ アレルギー、喘息の症状がみられる ・ 風邪を引きやすい 虫歯が多い ・ 湿疹が常に出ていたり、一度風邪をひくと長びいてしまう オムツかぶれなど度々ある（特に週末家庭で過ごす時） ・ すぐに体調を崩すが、それに対して対処できていない。肌が荒れやすい。入浴が毎日できない。 ・ 咳など続きやすい ・ 常にカゼ症状や顔等が汚れたままの状態に登園することが多い ・ 常に鼻水が出たりしていた。 ・ 常に鼻水が出ていたり、感染症にかかりやすい。 ・ 肌荒れがひどい ・ 肌がカサカサしていて、あまり手入れをしている感じがしない ・ 肌のケアが十分ではなく荒れている ・ 鼻水が年中出ていてなおらない。 ・ 鼻水がほぼ出ているが受診する事も少ない。 ・ 皮膚が汚れている
その他（10件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 階段から落ちたり、落ちていたおもちゃで足の裏を切るなど、ケガが多かった（家庭で） ・ 爪が伸びっぱなし 不衛生 ・ 入浴をしていない様子で足の裏や髪の毛等が汚れていることがある ・ 冬には手足にしもやけができています。 ・ いつも顔色が悪い。 ・ 顔色が悪い ・ 給食をよく食べる。むし歯が多く、歯がとけてしまっている。 ・ むし歯が多い ・ 元気ない、だるそうにしている ・ 毎日は風呂に入っていない ・ 真夏は週末明けには顔や体に汗もを作ってくる。

親から困窮状況について話があった (47件)

金銭問題
(25件)

- ・ 「ミルクが買えない」「お金がない」等
- ・ 「生活保護を受けてる」「ガスと水道を止められた」と話があった
- ・ お金がない。
- ・ お金がないからと言って来る
- ・ 最低限の物品以外は購入せず活動して欲しい
- ・ 支払いを要求すると、「友だちから貸りたら」と言うことがある。
- ・ 父が家にお金をいれずに全て自分で使ってしまうと母から相談があった
- ・ できるだけ教材費をおさえたいので家庭にあるものを使用したいと申し出があった。
- ・ 姉の制服が買えない
- ・ 一般的な程度で…「うちにはお家がないから…」
- ・ 絵本代、保育料滞納について待ってほしいと要望あり
- ・ 絵本代の集金等〇百円が〇日すぎでないとはらえない。今はお金がないから等と話があった。
- ・ 園での使用物品が買えない
- ・ お金が無いのでフードバンクを利用したい。
- ・ お金がないので服が買えない。
- ・ 親からではありませんが、市役所の方から、父親が市役所にお金を借りに行き、(母親はそれを知らなかった) その頃は電気・ガスも止められてしまい、食べることも大変だったといえます。
- ・ 会話の中で「お金がない」などの話が出てくる
- ・ 教材費が払えない 園にあったら借りたいもしくは欲しい
- ・ 車のガソリン代携帯代が払えずとめられてしまった、などお金がかかって大変だという話を送迎時にポロツと言う事があった。
- ・ 経済的にきびしいとの話有り。
- ・ 携帯電話が使えなくなった
- ・ 子ども手当がなければ、様々な支払いが出来ない
- ・ 集金があまりにも遅れている際、持ってきてほしいとお願いした時、「今払えないので、〇〇日の給料日まで待ってほしい」と言われる。
- ・ 集金の際、どのくらいですか?と毎回聞かれる。
- ・ 保護者会費、遠足代金、絵本代をまって欲しいと言われた

家庭問題 (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「別居中の妻が貯金を使いこんでしまった」「家のローンが返せないので、実家に住むことになると思う」などの会話。 ・ 父親が働かない。仕事をすぐやめる ・ 父親が働かないから、自分（母親）が、子どもを託児所に預けても、夜も働かなければ生活ができないというお話を伺った、（借金の返済も含まれていた） ・ 父の肢体不自由。子どもが多い。運転免許を持っていない、子育て、父の介護のため、十分な就労が出来ない。 ・ 母子家庭で、派遣業務。夜、別の仕事に出かけることもある。高校生の姉にもお金がかかる。
その他 (17 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ （過去に他の保育園で）「実は今、離婚調停中で、遠くにいる上の子も引き取りたいと思っている。今のパートナーは病気で働けないから私が働いて子育ても家事もしてるからしんどい」と話があった。あまり大変さを見せないのが驚いた ・ 仕事が変わった時等、家庭の事情について話があった ・ 仕事を継続できない。（自動車の運転免許がない）等 ・ 隠さずに話をしてくれる。フードバンクを利用しているとか、生活が大変とか。服や車を安く買った話などをする。 ・ 仕事を探しているが、決っても長続きしない様子がみられた。そのため生活費を実家からかりた等、話していくことが多々あった。 ・ 仕事を探しているが、仕事がないとの話があった。 ・ 自分の体調がすぐれず、満足に働けないので、お金がないと言っていた。 ・ 生活保護家庭 ※その他 無戸籍児（当時3才、1才 兄妹） ・ 生活保護を受けたいと思っている➡その後、生活保護を受けることになった。 ・ 生活保護を受けていると話があった。 ・ 電話がとまっている等の話があった。 ・ 話はないが、知人から衣服などをもらった時 服より食べ物が欲しいと話したりする ・ 母親が妊娠していたことをつげない。出産した時にかけこみで病院へ行く。 ・ 一人親なのでという話があった ・ フードバンクを利用していた。 ・ 夜勤を始めた ・ 両親共に仕事が続かず、収入のない月があった

支払い・集金の未納 (117 件)

未納・滞納
(111 件)

- ・ ○日が給与日だから、まって欲しいという。また、その日が過ぎても持ってこない家庭もある。
- ・ 絵本代、教材費の未納があった。
- ・ 絵本代や保護者会費が払えず、別の理由をつけて保育所を欠席してしまう。
- ・ 保育料滞納していて、なかなか支払わない。
- ・ 園で徴収するお金が払えない。家庭での借金・家賃滞納
- ・ 園服、教材費等が払えない。児童手当をあてにしている。
- ・ 金額が高くなると、2,3ヶ月はらえず、数カ月後に支払う。ケータイ代が払えず、止められている為、保護者との連絡がとれない。
- ・ クラス費等々切日に納入が間に合わないことがある
- ・ 月刊紙が個人買いで、隔月で2ヶ月分集金するが、「○日まで待って下さい」と言われることが多い。保育料の滞納。自動車税の滞納（母から聞く）
- ・ 支払いがいつも何ヶ月も遅れたり保育所で用意してもらいたいものをなかなか用意してくれない
- ・ 支払いの滞納が多い。
- ・ 集金が切までに提出されず長い間滞納する
- ・ 集金などの支払いが遅れる
- ・ 集金の支払いが遅れることが多い
- ・ 集金の徴収に時間がかかる
- ・ 集金日を守らない 提出が遅い「○○を持ってきて下さい」と頼むと、「給料日になったら買ってきます」と返事がある。
- ・ 月々の納入金が未納。
- ・ 引き落とし保育料が、引き落としができず。手渡しでいただくことがある。
- ・ 保育料、教材費等全般の滞納
- ・ 保育料、教材費の遅れや未納
- ・ 保育料、その他の集金も期日を過ぎても、納入できないと話す
- ・ 保育料、保護者会費、写真代等期日が守れず声を掛けることが度々ある
- ・ 保育料、家賃、税金などの未納
- ・ 保育料が支払えない。絵本代などの集金がいつも遅くなる。
- ・ 保育料が何ヶ月も滞納している。
- ・ 保育料が引き落としする日に残高がないのか、毎月されず、後日園に保育料を持ってきて支払う。
- ・ 保育料等支払いが遅れることが。あらかじめ、お金の用意ができないことを伝えられ、教材等で、他に用意できる物は購入しなかった。
- ・ 保育料の支払いがおくれる。

- ・ 保育料の支払いは数ヶ月未納の時期が続いていた。園からも話をしていたが、仕事が休みがちで支払える状態になかった。
- ・ 保育料の滞納。
- ・ 保育料の未納
- ・ 保育料未納。(過去の子)
- ・ 保育料や園での集金が未納
- ・ 保育料を滞納している 集金が期日までに支払われず遅れる
- ・ 保護者会費、教材費、延長保育料を支払うのが困難。
- ・ 未納がありその後払ったかは不明
- ・ 未納が多い
- ・ 家賃の未納 保育園の教材などの代金
- ・ 母子家庭で子どもが入院し、仕事を休まなくてははいけず長期で休んだため、給料がなく、お金が払えない。
- ・ 500円前後の集金を「月末まで待ってほしい」と言われる。
- ・ あまり無いが、一時保育料の未納があった。
- ・ いつも集金が遅れる
- ・ 絵本代や写真代など、期日に持ってこない。
- ・ 延長代未納
- ・ お金の集金の際、期日までに支払いできず遅れる
- ・ 教材費(色鉛筆やクレヨン)が払えず、しばらく未納になってしまう
- ・ きりつめて生活しているようで、教材等(園服)を購入するのもしぶっている。
- ・ クラス費等の支払いが遅れた
- ・ 月刊誌代や個人写真の集金が給料日後か、児童手当支給後にしてほしいと要望があった。
- ・ 月刊誌などの集金が、次の月になってしまうことなどが多かった。
- ・ 月刊誌の支払いが遅れることがある。
- ・ 月刊誌の集金は毎回、2・3週間は遅れる
- ・ 児童手当をあてにしている
- ・ 支払い(写真代、絵本代)が遅納となる。
- ・ 支払い(未納)らしき通知が毎回ある。
- ・ 支払いが遅れる事が多い。
- ・ 支払いが遅い
- ・ 写真代などが払えず、待ってほしいと言われる
- ・ 集金(月刊紙未納) 絵本差し止め
- ・ 集金が遅い(給料日後と、集金日にまにあわない)ことが多い。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料の未納 ・ 保育料の未納 ・ 保育料の未納 ・ 保育料の未納、集金の支払いが遅れる ・ 保育料の未納の通知が多かった。 ・ 保育料の未払いがある ・ 保育料未納 ・ 保育料や税金（自動車）の未納で役所から呼ばれている ・ 保育料を滞納していて払えない ・ 保険料の支払いがおくれる ・ 保険料の滞納、未納、生活が困難で生活保護を受けている。 ・ 保険料の滞納。児童手当が支給される日に保育料を引き落とす処置をとった。 ・ 保護者会費、体育着などの支払い ・ 保護者会費等の支払いが遅めである。 ・ 保護者会費等の支払の遅れ ・ 保護者会費や、写真代を〇〇日まで待つてほしいという希望があった。 ・ 保護者会費やバス代等の未納 ・ 毎月の絵本代の支払いが遅れる ・ 毎月の集金をすぐに提出しないので ・ 未納が多い。 ・ 未納はないが毎回他の子より、かなり遅れての支払いとなる。（数週間～数ヶ月）
その他（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の手当でも受けとるとパ～っと使ってしまうので、本当に必要な物への支払いができない。 ・ 絵本代（月 400～500 程度）が払えず、絵本を購入するのを止めてくれと言われたことがある。 ・ 遠足に行けない ・ 携帯電話が時々つながらなくなる ・ 携帯電話はよく止められている。保育所に関しては、未納はない。 ・ 役所からの手当の日を心まちにしていた。

学用品の用意不足(24件)	
学用品の用意 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「そろそろ紙パンツがなくなるので用意をお願いします。」と言うと、「〇日過ぎても良いですか?」と言われることがある。 ・ お願いをしてもオムツをなかなか持ってこない。持ってきてても数枚ずつ。登園時オムツがいっぱいにふくれている ・ オムツ、お着替えをお願いしてもなかなか持ってこず友達のオムツ、園の着替えを借ることがある。毎日持ってくる物を忘れ物が多い ・ オムツカバーを用意出来ない。 ・ オムツを、園の物を貸してもなかなか返してもらえなかった。 ・ 紙オムツが常に入っていない、祖母と母で理由をつけては忘れたことを訴える。保育所で用意した物を使うが、後日補充してくれていない。 ・ 着替えて帰っても、なかなか着替え袋の補充用の服を持ってこない。又、持ってきた着替え袋の中身が気温に合っていないことがある。(ロングTシャツを持ってきてほしい時期に裏起毛のトレーナーを持ってきたりする) 服を兄弟共有で着ている ・ 土曜日保育の食事がおにぎりのみ (1日を過ごすには少ない量) ・ ミルクやオムツではないが、日常的に保育所で使うものが揃わず、園で貸し出している ・ もちものを毎日必要なものももってこれない ・ おしっこ(うんち)がでていのにそのままカバンに入っている。(気づいていないケースもあり) ・ オムツがなくなってもなかなか持ってこず、持ってきてても1袋ではなく2、3個持ってくる ・ オムツなどの補充が遅れる ・ オムツの準備が出来ない事が多かったり、家庭でオムツを変える回数が少ない ・ オムツは汚れ何回も交換することができなく、園用を使いました。 ・ オムツやミルクをお願いした時に、「忘れてしまった」と話、なかなか園に持ち込んで預けず、園のストックが無くなりあわてて購入し、持ち込む。 ・ オムツをお願いしてもすぐには準備できず、園のものを貸す時がある。 ・ 紙オムツの補充が間に合わず園の物を使用することが多々ある ・ 児童手当が支給されると準備がスムーズでいつも必要分くらいしか持ってきてくれない。 ・ 準備品が買えず、準備するのが遅れた。(お弁当箱など) ・ 頼んだ物が、なかなかそろわない(用意できずに) ・ 時々あとで返すので貸しておいてもらいたいと話がある、(紙パンツ) ・ 保育所のものが足りなくなりお願いしてもすぐ持ってきてくれない ・ 忘れてしまった→貸す→返ってこない

2. 貧困状態にある子どもを発見した時、保育園として十分な対応ができていると感じるかの間に「できている」、「ややできている」と回答した保育士の具体的な対応策。(58件)

<p>保育園内で対応 (24件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人では抱えず園全体として対応していく。 ・ 園で使う必要な物(水着、水泳帽、サンダル)など園で用意した。保育時間の配慮。保護者の話、要求を受け止める ・ 園でのバザー紹介。園用品のおさがり品があれば提供。 ・ 園のものを貸し出す。 ・ 園服、体育着など購入ではなく貸与という形をとった。 ・ 食事の確保(給食)衣類の調整(厚着、牛着など) ・ 貧困世帯で育てられている園児が他児と比べられないような配慮をする。食で満たされるように、さりげない関わりをす。(おかわりの量を他児には気づかれないように少し多めにする。) ・ 朝の登園の際の顔色、給食の際の食べ方などを把握する事で、おやつの際の量、給食の量を増すなど十分な満足感を感じさせながら安心してすごせる場所である事を分かってもらう。 ・ 園長先生に相談する。 ・ 園で洗濯や給食を増やす等配慮はできるが、風呂や家庭でしかできない支援できない部分がある。 ・ 家庭の希望に答えるようにしている(提出はしてくれるので。) ・ 教材等、使い回しのできるものなどは購入せずに済むよう工夫をした。 ・ 金銭面で負担にならないよう、園服はリサイクル。教材も必要なもののみなど考えてあげている。園児はとても元気なので、皆と同じに接している。 ・ 靴の破損があった際には、子どもの運動面での発達や安全性に関わることであった為、実際に靴を見てもらい、新しいものの準備をお願いした。 ・ 購入出来ない物品等の活動の際、児が気にせずに取り組めるようフォローしたり、手作りの物で補なう等。衣類の汚れが目立つ時は洗ったり、着替えを促す ・ 指定の体育着が用意できない話をされた際、卒園した園児が寄付してくれた体育着を差し上げ対応する。 ・ 集金など声を掛けながらだが、持ってくるまで待つ。園で使うものなどで使わなかった方から頂き、使ってもらったりなど購入が困難な場合は相談に応じる。 ・ 主任保育士や園長先生に相談し、1人ではなくみんなで対策を考えて、対応していく。同じクラスの担任で話し合う。 ・ 生活面・毎日の食事面をしっかりはあくをしできる所はしっかり園でサポートしていく ・ 出来る範囲ではあるが協力していくようにする。例えば、用意出来ない物があれば、園の物を貸すなど。 ・ 貧困家庭との断定はできませんが、現在担当している子に生活保護を受給している家庭があり、集金等お金が振り込まれるまで(明日、あさって等)少し待つという事はよくしています。 ・ 体が細く、風邪(熱をだしやすい)をひきやすい体調面も心配ある園児なので、気をつけて、見守り保育するようにしています。 ・ 保護者からもらったいらなくなった服をあげる。
--------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所で、衣服の調整をする。 ・ 保育所で必要な用品など兄弟のいる家庭に声をかけ、おさがりをもらった。
他機関との連携 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長に報告・連絡・相談し、保育者間の共通理解。行政・専門機関と連絡をとれるようにする。 ・ 園のみで把握せず、市の担当者や保健師へ伝え連携をとりながら今後の対応を話し合った。 ・ 市の相談員さんが間に入ってくれているので、その方と連絡をとりながら対応をしている。教材等新しく購入するものに関しては、よく確認を取りながら、無理なく用意していくようにする。 ・ 市の担当者と連携をとる。(家庭相談所なども) 家庭ともしっかり話をする。 ・ 送迎時の会話から、おうちの様子を聞き出すようにし、笛吹市の保健師さんに相談報告をおこなっています。 ・ 保健所内で解決していくのは難しいので相談にのり、関係機関につなげていく寄り添い出来る限りの事はしてあげたい。働きやすい環境づくりに努めるなど… ・ 専門機関と密に情報交換をし合い、園や家庭での生活の様子、身なり、食事環境などを把握し合い、必要に応じて対策ができるようにしている。 ・ 入園前に支援課の方から、家庭状況を知らせてもらうことができるので、すぐに対応できる。保健士・民生委員の方々の協力を得ることもできることから対応策がとれることもできると思われています。 ・ 役所の係の方・保健師・児童相談所と日々連絡をとりあい密にし、関係各所と共に保育するような感じにしていた。 ・ 保健士さんと連携をとって対応していく。
公的支援制度の 紹介 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所長主任に子どもの様子を伝え、公的な施設とのつながりを持つよう働きかけを援助する
子どもへの対応 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ お風呂に入っていないと思った時園で沐浴させた。同じ服を着てきたら着替えさせる。衣服、カバン、布団等汚れていたら洗濯する ・ 体をきれいに拭く。給食を多目に与える ・ 給食の配食やおかわりの時に多めに配り十分のお腹が満たされるようにする。衣服の汚れが目立つ時は、着替えさせたり、体の汚れがみられる時には拭いたり夏場からはボディソープで洗ったりする。 ・ 清潔ではないので、毎日保育所で入浴をしたり、洗濯も手助けをしている。食事もおかわりがあると食べさせるようにしている ・ 精神面でのフォローは、言葉がけ、スキンシップなど心がけ、他児との差がでないようにしてる。 ・ においが気になったり、体が汚れている時は入浴させる。服や布団を洗濯する。食事を他児より多めにする。園であまっている衣服をあげる。 ・ プール遊びがある際は、ボディソープで体を洗う。歯がなく、りんごなどがかたく食べにくいものは、小さく切ってもらい出すようにしている。 ・ 保育所で体をきれいに洗ってあげる。他の保護者がいらなくなった服を園で活用して下さいと持ってきた場合、その家庭にあげたりする ・ 本児が求めていることに応えられる範囲はできる限り満たされるよう配慮している。(おかわりをあげるなど)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所で洗濯をする。(あまりにも汚れが目立つ、臭いが気になる時) 給食の際はおかわりを与える。体を拭き、清潔にする。肌の荒れが酷い時は薬を塗る。 ・ 汚れている所があったらきれいにしあげたり、服の着替え等を行う。職員同士で把握し、日々の様子をノート等へ書き、記録しておく。簡単なおやつ等を用意しておく ・ 園で貸す事ができる物は貸している。例) 園服、園指定のTシャツ、ハンカチ、ランチクロス等、洗い替えがない為、洗濯が間に合わず、着たり持ってきたりしなかった時。また、夏は脱水した直後の濡れたTシャツを着てくる事もあり、園の着替え用のTシャツを貸した事もあった。 ・ おかわり分は優先的に該当園児に配る ・ お風呂に入っていないと思われたので、夏場はプール遊びの際にシャワーでよく身体を流すようにした。 ・ 兄弟が多かったので言葉掛けを多くしたり、身だしなみを整えてあげた
保護者への対応 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集金を持ってきていない時には、他の親がいないところで、小さな声で話す。(忘れていただけでした) 園から他の家庭でいらなくなった服をほしい物があればどうぞと渡したりする事もあります。話をきいてあげる。 ・ 家庭と話をする際、子どものため、また前向きな気持ちになるように伝えていく。 (「週末は天気が良いので、またお洗濯をお願いしますね」「土曜日保育の食事はおにぎりに加えて、本児が食べられるようなおかずも用意してあげてくださいね。喜びますよ。」等) ・ 保護者に声をかけて朝食を食べてきたかなどさりげなく聞いたり、家庭の様子を聞く。 ・ 家庭に無理のない範囲での依頼をする。(例：朝登園した際園で用意された雑巾で足の裏を拭いてもらい、など) ・ 個別に懇談を行い、お互いに手立てを考えている。必要最低限のものはお願いしている。(日生活に) ・ 保護者の不安な気持ち、頑張っている気持ちを受けとめ温かい気持ちで保育するよう心掛けている。
その他 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在はいないのですが、もしそういう子が居たら、給食の量を増やしたり、衛生面のフォローや、子どもが快適に園で過ごせるような個別の関わりは十分可能だと思う。 ・ 実際はまだ直面したことはありませんが、給食の食べ方や衛生面で受け入れ時などに気づきたいと思います。

3. 貧困状態にある子どもを発見した時、学校として十分な対応ができていると感じるかの際に「できていない」、「あまりできていない」と回答した保育士が、十分な対応ができていないと感じる理由（57件）

<p>家庭介入の 難しさ (32件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あくまで仮定ですが、貧困は世帯の問題であり、どこまで保育が介入して良いのか、相手がそれを望むかにより大きく行動は違ってくるように思います。個人的というのは公平性を考えると、あまり公に活動はできません。行事の際バザーという形で、園服や防止など低価格で購入できる場を作る。 ・ あまり深くまで入っていけない。個人としてはできる事もすくないし、どこまでやってあげれば良いのか現実的にわからないのが正直な所です ・ 園に登園している間は身の回りの清潔さなど気にかけてあげられたが、直接保護者には伝えにくい事柄で、根本的な改善に近づけることが出来ていなかったから。 ・ 親のプライドを傷つけてしまうおそれがある為、踏み入った話がなかなかしづらい。(カバンが小さい子に対して)「大きいカバンを購入して下さい」となかなか言えない。→子どもが扱いやすいよう本来なら大きなカバンを用意してもらいたいが、別で持ってきているビニール袋に入り切らなかった荷物を入れる等代用品で済ませているのが現状。 ・ 具体的に聞き出せない。家庭の様子を聞きとりにくい。(ノートや送迎時で話をひき出せない。)衣類は準備してくれているが、それを着たくないと言う時が多い場合、園の物を貸すか、迷ったことがある。 ・ 昼食をよく食べる子、体臭がある子=貧困世帯と判断すべきかわからず、保護者になかなか話ができずにいた。 ・ 服装などの話を母にすることはできてもそれまでで、それ以上家庭の事情にふみこむことはできないから。保護者が話したくない。と思っているのを感じるから。 ・ 保護者が困っていることを話してくれれば対応できるかもしれないが、話してくれない場合は対応できない(把握できない)デリケートな問題のためこちらから介入しづらい ・ 保護者から話が聞けないと、具体的な対応に繋がらない ・ 保護者への助言もあまに気にしてくれないので、現状が変わらない。夏のプール時、シャンプーや体を洗ってあげるが、プールのあつた時だけなので一時的な事になってしまう。給食についても、量を多くしてあげるが、朝は、お腹がすいて泣く事もあつた。 ・ 朝ごはんを食べてこないという声をたまに聞くことがあり、子どもには「今日何たべた?」と話を聞くが、保護者とは、朝食の話が出来ていない。 ・ 園に受け入れている時は身体を整え衣服の交換等してあげられるが、家に帰ってしまうと親が関わらず...といった現状 親への関わりは園では一部でしかできないので、行政に入っただけをおねがいします。 ・ 親が困窮している事を言う事がないので、実際困窮しているのかまず分かりにくい。プライベートでプライバシーもあるので聞く事も難しい。園では、困窮しているのかもしれない...と想定して対応するだけで休日と降園後の対応までできない。 ・ 親からはごくに相談がなく、どう思っているのかわからない。プライドがあるように感じる。 ・ 親から話があつた時には話題にできるが話題にあげにくい事でなかなか踏みこめない。 ・ 親の考えなどもあるので家庭の中までは深くふみ込めない
--------------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各家庭の問題を指摘していいものかどうか 役場に連絡するくらいの対応しかできない ・ 家庭から相談があった訳ではないのであまりふみ込めない。 ・ 家庭状況を深くまでさぐる事が出来ない。聞き方によっては失礼になってしまうので、そこから信頼関係がくずれてしまう事も予想される。色んな要因があり、うかがう事も出来ていない現状。 ・ 家庭のことにどこまで入っていいのか、どのように対応したらよいか分からない。 ・ 家庭の事情に、相談をされていないのに今一步ふみこむことがなかなかむずかしい ・ 子どもに対しては園で出るおやつや給食をしっかり食べさせるという対応はできるが、親に対しての対応はできていないため ・ サイズの合った洋服を…と伝えたいが、うまく伝えられない。「寒がっていた」と、場合に合わせた現状しか伝えられない。お下がりであればたいきもちにもなるが、立場や母の思いを考えると無理である。 ・ 食事面、衣服の清潔は対応できるが、体調面やまた精神面をどのようにして対応すれば良いのかが分からない どこまで介入して良いかが分からない ・ 送迎時、保護者と家庭の事などで話をしても、休職していても困った感じがないので、一步踏み入れた話が出来ない。 ・ その家庭内での1人1人の事情もあるだろうし、もめごとになっても困るので。 ・ どこまで触れて良いか対応に悩むことがあった。 ・ プライベートなことなので保護者が望まないかぎり立ちいいることはできません。 ・ 保護者に対してその話題についてふれて良いのか悩むところがある。子どもに対しては、園では安心して過ごせるよう、気持ちが満たれるよう配慮は出来ていると思う。 ・ 保護者の方より年齢が下のものにとって、家庭の経済面について足を踏み入れるのはとても難しく、ためらってしまいがちである。ただ、子どもの最善の利益を考えると、身近にいる大人（保育士）が対応し、子どもたちを守っていきたいと思う。 ・ 保護者より訴えがあるわけではないので、こちらが決めつけてはいけないのではないかと思ひ、どのように声をかえたらいいか悩んでいる。清潔感に欠けるため、登所後、毎日シャワーと、こちらで洗濯した衣服に着替えさせ、持ち物も着てきた服と一緒に洗濯をしている。おやつや給食は、他児より多めにするなど、日常的に行っている。 ・ 本当に貧困なのか、確信が持てていないので、対応するには限度がある
<p>対応策が不明 (18件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園全体で貧困世帯に対する対応について考えて話し合いの場を持ち全員がしっかり対応出来る様にしていかなければ十分な対応は出来ないと思います。 ・ 貧困世帯で育てられていると思われる園児を把握した際に、どのように対応したら良いのか分からない為。定かではないので対応しづらい。貧困世帯についての知識が浅いため自信がない。 ・ 貧困世帯に該当する児童がいない為、対応ができないと思う ・ 子どもの生活しにくい様子を伝えても、その先にどうしてもあげることできない。 ・ 上司に相談はするが、具体的に動くことが難しかった。 ・ どこまで園がサポートしていくことが本当の支援なのか。 ・ どのようなサポートをしたら良いのかわからない。支援できることがわからない。(市への申請など)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何をしてあげたらいいか、わからない。どのような援助方法があるのかわからない。 ・ 衣服をきれい（清潔）にしたり、親が忙しいことで不十分な箇所を補うくらいの程度に滞り、根本的な貧困に対する対応が何をすべきなのか分からない為。 ・ 今現在貧困世帯の園児がいない（と感じている）のでわからないから。また、対応もどのようにとっていいのかもわからないから。 ・ 給食を十分に食べさせてあげること位しかできない。 ・ 具体的、現実的支援ができないため ・ 具体的になにもしてあげられない。 ・ 経済的価値観がそれぞれ違うので、幸せの度合いを見た目だけで判断するのはよくないという思いもある。又具体的にどのような策があるか、わからない。 ・ 実際にそのような園児を把握しても、担任として何かしてあげられるのか…他の子と変わらずに園生活を送れるよう対応していきたいと思っているがそれだけでは十分な対応とはいえないと思うので対応についてもっと学ぶ必要があると感じた。 ・ 市役所などに情報を伝えることはできるが、どこまで入っていったらいいのか難しい。 ・ 相談にのることは出来るが、具体的な援助が出来ない。また、どこまで援助すればいいのかわからない。 ・ もし把握した時に、どこに相談、繋げたらよいかわからない。どこまでふみこんでよいか不安がある。
<p>その他（7件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸し出すことができる物は、その都度対応したが、朝食を食べてこない、などは給食を多めにあげる位しかできなかった。 ・ 市からの情報であり、親から直接話を聞いていないため。 ・ 衣服等の改善を働きかけているがなかなか良くなっていない為 ・ 園生活での対応としては、あまり細かいことを言わず、着替えの貸し出しをしたり、オムツやミルクの補充を早めをお願いし、期限に猶予を持たせたり、母親の話の聞いたりするものの、私自身は社会的な助けとはなっていないと思う。 ・ 確実に貧困だという証拠がないので声をかけにくい。 ・ 子育て支援が必要な家庭が多いことに加え、保育園の慢性的な人手不足。その影響で持ち帰り残業が多く、日々の保育を行うことで手一杯である。 また、支援すべき方法や関係機関を知らない（つながりが希薄） ・ 集団生活において該当する子だけ、特別な待遇はできない上、こちらが過剰に反応すると、子どもも敏感に感じってしまうと思う為

4. 貧困世帯と思われる世帯と、それ以外の世帯で、親の子どもに対する接し方には、違いがあるかという問いに「ある」と答えた保育士の具体的な違いの内容。(87件)

<p>ネグレクト (78件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家では子どもへの育児をしっかりとおこなっていると話す、子どもの世話をほとんどしていない(母親)ことを、子どもが話し、園で話す母親のつたえていることがまったく違う。 ・ 親が子どもの話を聞いてあげない ・ 親自身に余裕がなく、子どもへの接し方がうまく行えていない。対応が冷たい。 ・ 心に余裕が無いようなので、子どもに対して乱暴な言葉づかいをする傾向に感じた。 ・ 言葉が乱暴。着替えなど親が見てあげて内容で自分で着替えてくる。また園に持って来る物を忘れてしまうと、子どもの所為にしたがりする。(あまり子どもに手をかけていない) ・ 言葉があらい お弁当の中身は料理をしていないようなものが入っている。手をつなぐことをしない。スーパーで会うと、インスタントラーメンを購入していたりする。未満児でも全て(手洗い、所持品の始末、うわばき・靴を履くなど)言葉で指示し、一緒にやったりしない。 ・ 子供との関わりがうすいように感じた。 ・ 子どもに対して余裕なく、おこる事が多い。(親も生活に必死) ・ 子供に必要な物(服、食事、風呂、洗たく)にお金を使用せず、親は自分のため(たばこ、遊び、車など)に使ってしまう傾向がある。言葉遣いや扱い方が荒い ・ 子どもまかせで手をかけない ・ 子どもより親の都合が生活の中心である。出費する物が自分中心 ・ 仕事や資格をとる為に学校へ行き、忙しさでイライラし、子どもに冷たく接したり、怒ると強く怒ってしまう。 ・ 生活することが最優先となってしまう事もあり、気持ちのゆとりが持てないことも。そうでないこともあるとは思うが。 ・ 生活に余裕もないことからか、子どもの声、心に寄り添うことが少ないように感じる ・ 対応がつめたかったり、子どもがなくてもそのまま ・ 冷たくあたる。無関心に見える。 ・ バス遠足はお金がかかるので行くことが出来なかった。姉弟によって接し方が違う。 ・ 母親が自分の事を一番大事にしている。(父親が何人もかわる。自分の身なり、化粧はきれいにしている。)子どもにあまり興味が無いように見える。母親が別居中の父親は子供の事を人一倍大切にしている。 ・ 貧困と思われる親は子どもの成長の姿、考えに共感したり、供に悩み、解決していこうとしない気がします。心に余裕が無いのかな…。 ・ 保護者自身に余裕がなく、行事等への参加が少なかった。衛生面に配慮されていない。(衣類、かばん) ・ 持ち物の不足、衣類の汚れ、時間にルーズ などをを感じるが、親はあまり意識していない傾向 ・ 余裕がもてず、育児に対する意欲が少なく、イライラしていた。子どもに当たる事もあった。(貧困世帯)気持ちに余裕があり子供と一緒に楽しむ。ゆとりを持って過ごす(一般家庭)
------------------------	---

- ・ 朝から不機嫌に来て、子どもをしっかりとつける姿がある。余裕（心に）があまりないのかも、と感じる。
- ・ あまりお風呂に入っていない、着がえていない等、育児放棄？と思われる所がある。
- ・ 怒り口調が多い。
- ・ 育児能力としての面もあるかもしれないが、親が子をちゃんと向き合っていて関わっていないと感じる場面があり、親が自分のことで手いっぱい、という風を感じられる。
- ・ イライラしている時があり、子どもに冷たく接している
- ・ 親（自分）の都合に子どもを合わせる生活をしている。 貧困からのネグレクトかネグレクトゆえの貧困なのかが判断でない。
- ・ 親に余裕がない為、子どもにゆっくり関わらず心に寄り添えていない。
- ・ 親の就労のきびしさや、余裕の無さから来る厳しい叱責。疲れていて子どもに向かい合えない。人と話をする時に表情がかたい（喜怒哀楽にとぼしい）
- ・ 親の性格か、生活面で余裕がない事に対するイライラかの判断はつきにくい、落ち着きのない我が子に対し、保育者や他の保護者の前でも怒鳴ったり、時には手をあげたりする場面も見られた事もあり、他の保護者と比べてやや気性の荒さを感じる。
- ・ 少し冷たく感じる。サバサバしている。
- ・ 親は自分の事だけ考えている人も多く、子供の様子を把握していない。父・母どちらか働かないで自分が欲しいものがないとおこったりする事もあり子供に対してやさしい言葉はない
- ・ 関り方が少ない 食事内容が乏しい 学習が疎か
- ・ 関わり方に思いやりや温かさが感じられない。言葉が強い。
- ・ 関心がなく言葉かけが少なかったり、行事への不参加 送迎時も淡々としている
- ・ 気持ちに余裕が無いため、子どもに怒りがちである。（仕事で疲れている？）
- ・ 兄弟が多い家庭だったり、母子家庭だったりするが、あまり子どもに関心がないように感じる
- ・ 子育てに余裕がない言動を感じる。特に朝のおくりだしでは、準備がゆったりしている事に大激怒で登園したり…
- ・ こだわった食事メニューであったり、コミュニケーションがとりにくかったり、する。
- ・ 言葉・接し方があらかぬりがちです。かかわらず、危険なときにも声をかけない
- ・ 言葉かけやスキンシップが足りず子どもの言語発達にやや影響していると思われる。（DVD かけっぱなし、夜間の買い物など）食事にバランスがいきとどかず給食でも偏食が多い。生活リズムがなかなか整わない（夜遅い、欠席が多い）他児との関わりが少なくなってしまう。
- ・ 言葉遣いがあまり良くない
- ・ 言葉遣いが乱暴 無視する 無関心
- ・ 子どもが話しかけても「あっそ」というそっけない感じで見つめたい。面倒くささが出ている。
- ・ 子どもに対する言葉か、粗雑だったり子供を見ながらの会話ができない。子供の身体的な変化を感じないし、あまり子供のこれからの成長を考えていないと思う
- ・ 子どもにあまり関心がなく、周囲がかわいそうで困っていても、親自身には、さほど困らずにいる。（必ずとは思いませんが）

- ・ 子どもに対して、言葉かけが強めである。
- ・ 子供に対してあまり関わってあげるきもちに余裕が無いように感じ
- ・ 子どもに対してあまり関心がない
- ・ 子どもに対して関心がない。会話が少ない。
- ・ 子供に対して冷たい時がある。
- ・ 子どもに対する声かけの少なさ、母親の表情のとぼしさ、衣服の乱れなど。
- ・ 子どもに無関心 また身なりが気にならず着衣がとても汚れていてもそのままである
- ・ 子どもに無関心な部分がある。泣いていても知らん顔、逆ギレ（親が）
- ・ 子どもの心によりそって対応が見られない その場しのぎで人間関係を持っていたり、生活していると感じる
- ・ 子どものこと以外にもお金を使うことが多いように思う。
- ・ 子どもの話を聞いてあげない
- ・ 子どもの身支度から違い、また表情が違います。子どもに無関心であり、自分（親）の事を優先してしまうことが多いように思います。
- ・ 子どもへの感心が薄い
- ・ 十分な食事を与えていない。特に野菜の摂取が少ないように感じる。迎えに来た際は、子どもとスキンシップを大いにとるが、連絡帳などに家庭での子どもの様子、成長が記入されていない。母親中心の文章になる。
- ・ すべての世帯ではないと思いますが、実際に接した家庭では、保護者の方に心の余裕がなく、甘えさせてあげられなかったり、笑顔が見られなかったりして、子どもに対しても冷たくなってしまいがちと感じました。
- ・ 全ての場合ではないが、子どもに関わる余裕が持てずゆったりとした関わりが持てないことがある。
- ・ 生活するのがいっぱいいっぱい、子どもの事にまで手が回らずほったらかしにしたり関わりが少ないため、子どもの躰などできていない場合が多い様に感じる。
- ・ 接し方に含まれるかわからないが、きちんともちものが進められなかったり、身辺が清潔でないなど子ども自身が親の育児能力の低さでかなしい想いや気もちのよい生活が送れないなどの違いがあるように感じる。
- ・ その時の気分や状況で子どもへの対応（態度や言葉かけ）がちがうように感じます。
- ・ 父は子育てに意欲的だが、母が、感心無しと、とれるような行動が見られる。例えば、家庭に1台しかない車に母が乗って出かけてしまい、父が寒い中、第3子を抱いて歩いて保育所に迎えに来る…など。
- ・ 常に子どもをせかしていると感じる
- ・ ネグレクト気味とすることがある
- ・ 冷たくする
- ・ 貧困に限らず親の余裕のなさが子どもへの対応に影響はあると思う。
- ・ 放任している様子、あまり子どもに関心がない様子あり。子どもの持ち物を忘れがち。
- ・ 放任であり、厳しいように思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の子と同じように園行事などに参加させてあげられなくても仕方がないと言いきかせてしまう ・ 迎送の際、子どもと丁寧に関わるというより流れ作業のようになっているように感じる。(忙しいのは理解できるが) ・ 無関心、冷たい ・ ゆとりを感じない。育児能力に欠ける面もみられる。 ・ 表情が暗い。子供に対しての関わりが素っ気無い。子育てを他人任せにしているようにも見える
その他 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困世帯だからという訳でもないのですが、その一家庭では、仕事に忙しい母親だったので、子どもへの愛情はあるものの、あまり一緒にいる時間がとれず、子どもとのスキンシップが十分ではなかったように思う。 ・ お風呂に入れていないのか、不衛生な姿が子どもに見られる ・ 子どものことを訪ねてもよくわからなかったり言っていることがコロコロかわる。 ・ 検診につれていかない。 ・ 自分の都合の良いように話しをすることが多い。 ・ 病院を受診したがない。 ・ (現在いないので分かりませんが) 子どもに不自由をさせている後ろめたさや(自身のない様子)、必ず給食やおやつは食べさせてほしいと伝えてくる(体調が悪くても)など。 ・ 園に来た時は、家庭で十分関わっている姿を保育士に見せたがっている。 ・ 「ごめんね…」と何でも受容してしまう方もいれば、接し方が荒く、口調も悪く、“しつけ”に関しても”子どもだから…”で済ましてしまう方もいる。

5. 貧困世帯で育てられていると思われる園児を把握したとき、保育所・幼稚園はどのような対応ができるか。(232件)

<p>外部との連携 (97件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園独自では対応しきれないことが多いので、専門機関との連携が取れるようにしていく必要がある。またそのような家庭に対してのマニュアルなどが無いと思うので、それらの作成を行うなど、取り組むべき課題は多いように思います。貧困世帯は今後増加していくと思うので、社会全体で考えていく必要があると思います。 ・ 家庭相談員さんに報告、連絡する。園服など、リサイクル品の提供。 ・ 行政と連携をとり、他機関へとつなげていく。 ・ 公的機関へとつなげる。(自分からはなかなかいかないので) 関係機関との連携を図る。園内で情報を共有する。 ・ 子育て支援課などにすみやかに報告し子どもの対応について話し合う。地域など(民生委員)様子を聞いた上で改善に向け対応する ・ 子育て支援課や保健師さんに状況を伝え、支援へとつなげていく。 ・ 子育てに関する関係機関(保健士さん、役場、児童相談所等)と連携して、よい方向に持っていけるように対応する。当事者の子どもや、周りの子への配慮を心がける。 ・ 子どもの様子を園長に報告し他の機関につなげる。持ち物の汚れがあったら洗ってあげる等、身のまわりの清潔を保ってあげる。 ・ 支援につなげられるよう、機関に相談 ・ 市役所の保健師や相談員に報告、相談をする。子育て応援課担当と話し合い、必要があれば児童相談所へ報告、相談する。保ご者の相談相手になる信頼関係をつくり、困った時は話してもらえるようにしておく。 ・ 市や県と協力して、物資提供。集団生活を送る上で、清潔な体を保つことは必要。沐浴などにてシャワーをし体を洗う。保育士の何気ない言葉により、貧困に悩む保護者の自尊心を傷つけないよう充分注意し、配慮すること。日頃から困っていることを聞いたり言えたりする保育士と保護者の信頼関係を築いておくこと。 ・ 相談できる場所を紹介する。愛情かけて育てていく ・ 相談窓口として、各機関と連携を図れるようにする。 ・ 担当課や保健師などに相談する ・ 早めに関係各所へ連絡をする。単独で何かをしようとするのは難しいと思う。 ・ 必要であれば関係機関へ繋げる。母親が悩んでいれば話を聞く。子供の情緒安定を図る。 ・ 保健師に相談して一緒に考えてもらう。 ・ 保護者の方と蜜にコミュニケーションを図っていく中で、困っている事を相談されれば、必要な機関につなげられるが、そのような相談がなければ、なかなか何らかの行動を園の方からとるのは難しいと思う。 ・ 役所と連携をとり、できる範囲で対応していくこと。園での様子を家庭に伝えたり、独自の判断ではなく所長、役所と相談しながら対応していくこと。だと思う。 ・ 役所などへの連絡をし、これからの対応を相談する。保護者と話ができる関係を作り、様子を聞く。 ・ 園全体で把握をし、保健師や児童相談所などに相談をし、子どもにとってより暮らしやすいよう一緒に考えたり、改善につながる。 ・ 園内で情報共有し体調、情緒面の変化に気をつけて見ていく。保健師さんにも間に入ってもらい、市役所にも伝える。 ・ 各機関との連携をとり、早急に対応がとれるようにする。
-------------------------	---

- ・ 関係機関との連携を図り、最善策を提供していく。
- ・ 関係機関に積極的に相談し、保ゴ者と話ができるようにしたい。
- ・ 行政機関と連絡を取り合う
- ・ 行政を通して支援援助していく。
- ・ 市の子育て担当や保育師各機関と対応策を検討する。問題や課題について、カンファレンスを実施し、改善点や支援内容を検討する。毎日受け入れの際、健康観察を丁寧におこない、食事のセ摂取、衛生面（歯みがき、入浴など）について改善に向けた働きかけを本人や保護者に行う。
- ・ 市への報告と保健師さんとの連携を密にとっていけるようにしたい。
園だけでは対応しきれないケースも多い。虐待へつながらないように早期対応を。
- ・ 市役所、関係機関への連絡。貧困家庭と思われる家庭がないため、確かなことが言えず申し訳ありません。
- ・ 市役所等で行われている支援活動を知らせる
- ・ 市役所に相談し、現状を把握してもらい対応する。
- ・ 市役所へ相談する。
- ・ 市役所や関係機関と連絡をとり合う。
- ・ 市役所や保健士さんなどと連絡をとり情報を共有し保育所でできる範囲内で支援していく（その園児に対し何の支援が必要なのかを話し合いながら）
- ・ 他機関との連携による改善
- ・ 他機関への相談 親の相談を聞くなどの協力
- ・ 母親に困っていることがないか聞き、状況に応じては福祉課や民生委員の方へ連絡も必要だと思う。
- ・ 他の関係機関。団体と連携して対応を図る。
- ・ 他の機関との連携を結ぶ
- ・ 保健師等専門機関との連携で家庭の状況を細かく知り、その上で専門機関のアドバイスのもとできることを探す。
- ・ 保健所だけで、抱えこむのではなく、行政（担当の課）また地域（民生委員）の方々の協力を得ながら関わっていくことが大切かと思われま。いろいろな支援があることを踏まえて、貧困家庭に知らせ手続きしてもらうことで、生活が潤うようにしていければとも思われる。その上で、子ども達・保護者に関わっていき安心して過ごせるようにしていくことも大切だと思われま。
- ・ 役所、保健師等への連絡
- ・ 役所に連絡をする
- ・ 役場、保健師等関係機関との連絡を密にしその園児に対して最善な解決策を探していく。
- ・ 役場など関係機関と連携をとりながら、子どもにとって良い育ちの手助けができるようにしていく
- ・ 町と連携し、園でできることはないのか、一緒に考えていく。
- ・ 様子をみながら市と連携をはかる。

保護者との関係構築 (49 件)

- ・ いつでも相談にのるという姿勢でいる。話しを傾聴する。改善できることを一緒に考えていく
- ・ 保護者と信頼関係を築き、話しやすい環境を作る。その上で、困っていることや思っていることを受けとめ、通いやすい雰囲気を作る。用品の貸与
- ・ 園児や保護者に寄り添い、家庭の状況や悩みなどを聞いていく。町と連携をとり、状況を伝えていく
- ・ 親からの話をよく傾聴し、大変な気持ちに共感したり、親自身の努力等にねぎらいの言葉をかけたりすることで、精神的な支えとなれるよう努める。子どもの行動や持ち物をよく観察することや、会話の中で気になる点を見つけることで、現状を把握していく。
- ・ 家庭での様子を聞いたり、園での気になることがある場合は伝えたりと、お互いが話をよく聞いたり話せる時間をつくる。
- ・ 家庭での様子をきき、相談しやすい関係を築く。役場、市役所にて援助を得られる情報をもっている課とつなぐ。食事をしっかり食べさせる。友だちとの関係作りを助ける。小学校との連携をはかり、園児が進むであろう先の関係機関に様子をしっかりと伝える
- ・ 家庭とで手立てできる所を一緒に考え、サポートしていく。おさがりバンクなどの活用。今、一番何が大変なのかを話し合い、手立てを一緒に考えていく。
- ・ 家庭の現状を詳しく教えてもらい、援助出来る内容を話し合う。子どもの様子を観察し、家庭内で満たされない部分のケアを行う。
- ・ 体を拭いて清潔にし、身だしなみを整え、援助していく。必要に応じて保護者の話を聞き、思いを受けとめていく。
- ・ 経済面での援助などはできないため、精神面でのケアをしていく
- ・ 子どもが育つ環境は昔と比べ多様であることを理解し、受け入れ、多様であることに傷つくのではなくて理解し合える受け入れるそんな環境に変わっていく必要がある。お互いが相談しやすい雰囲気作りが必要でどんなサポートができるか考えていく必要がある。
- ・ 子どもの様子を気に掛けて見ていき、保護者とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築いていく。
- ・ 集金の期限を配慮する。個別で話を聞く（面談、気負わないよう話す）子どもの気持ちを代弁して伝える。園生活の中で、スキンシップをとる。
- ・ 職員全体で様子の見守りながら、保ご者とのつながりを強くしていく。
- ・ 市の保健士さんに相談、報告。
- ・ 送迎時や連絡ノートでお話を聞き、できることは協力し、心のケアをする。着替えの服が用意できない時は、園のものを貸し出す。子どもの様子を見ながら、給食の量、おやつを多くする。
- ・ 提出物、期限等に他児よりゆるみを持たせる。購入しなくて良いもの（進級、進学にともない）は、あらかじめ伝える。市の保護等が受けられるなら、その旨を伝え利用してもらうようにする。
- ・ どんな点で困っているか、聞き、何か、利用できる機関・制度があるか、など、解決策を一緒に考える。行政の子育て支援抱括センターと連携する
- ・ 貧困に悩む保護者の自尊心を傷つけないよう十分に言動に注意する 日頃から、保育士と保護者との間で信頼関係を築いておき、相談しやすい環境を提供する。
- ・ 保育所で対応できる（服の着替えや体の汚れなど）ことはする 子供に対して関心が少ないように感じる家庭では、子どもの姿をよく話す 保ご者との信頼を深める（相談できる間柄になれるよう）
- ・ 保ご者から相談を受けたら聞いていく

- ・ 保護者と保育士のコミュニケーションで困っている事、悩み等の相談に気軽に話せるようお送迎の際声をかけていく。担任が一人でかかえこまず、園全体で把握し、全体でフォローしていけるようにする。
- ・ 保護者に言葉を選びながらくり返し伝えていく。
- ・ 保護者の相談に乗る。特別なことはしない衣服（体）の汚れ等あったらさりげなくきれいにする。園児が他のこと変わりなき気持ちで生活出来るよう、援助する（言葉がけ、活動の援助）
- ・ 困っている事など悩みの相談を聞き入れる。
- ・ 親からの相談を受け、園や子育て支援に協力をお願いしていくことが必要ではないかと思えます。
- ・ 親との懇談を行う 他の支援との連携
- ・ 親との面談 相談所等への連絡
- ・ 親に少しずつでも良いので改善してくれるように伝え続ける（子どもは言えないので）
- ・ 家庭から相談ができるような信頼関係やあたたかい雰囲気をつくっていく。
- ・ 家庭との信頼関係を築き、此細な事でも話せる状況を作り上げた上で、現状について問題があると思われた時に、徐々に問題と思われる点を改善する方向に持っていくようにできれば、少しずつ前向きに進められえいくのではないかと思います。
- ・ 子育てが苦しいと思う気持ちを受け止め、相談にのったり、子どもの成長の中に喜びを見つけられるよう、促していく。
- ・ 子ども、その親を温かく受け入れる。その上でアドバイスできれば！良い関係を築かないといけない。
- ・ 相談に乗ったり、福祉の窓口を紹介する。
- ・ 相談できる信頼関係を築き、アドバイスできるところは情報提供していく。
- ・ 日頃から保護者とコミュニケーションを蜜にとり安心して相談や話ができる場を作っていく。
- ・ 保護者から話を聞き、状況を詳しく把握していけると思う。
- ・ 保護者との個人懇談、保健所への相談
- ・ 保護者との面談を行いニーズを把握する。関係機関と連携をとり優先事項から支援の体制を整え実施していく。
- ・ 保護者に対し、何か困っている事がないか尋ねる。状況に応じて他の機関などにつなげていく。
- ・ 保護者にも問題があることもあるので、保護者のサポート（子育てについて、話を聞く）などよろそってサポートできれば良い
- ・ 保護者の方への声掛け（信頼関係を築きながら、共に子どもを見守っていたり成長を喜び合ったり、労いの言葉をかけていけるよう配慮していきたい）
子どもに対しては注意深く見守っていく
- ・ 保護者の相談にのったり、保育所で補えることは補ってあげたりし力になる
- ・ 保護者の悩みや話を聞く
- ・ まずは保護者に寄りそって、話をきき、対応できるところ（延長保育等）は対応していき、生活の流れに余裕が少しでもできるようにしていく。
- ・ 保護者からの相談を親身に受けとめ、一緒に解決方法を探していく。また、必要があれば適切な専門機関へ紹介すること。
- ・ 保護者から話を聞き、状況を詳しく把握していけると思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に声をかけ、相談にのる。(信頼関係が築けていることが前提) 保育園の職員間で情報を周知し、子どもの体調や様子等、変化を見逃さずに見守る。フードバンク山梨さんへ、園より貧困で困っている家庭(子ども)がいることを相談させて頂く。(行政機関へも相談する) ・ その家庭の保護者から話があった時は行政の支援を受けられるようにどのような制度があるか知らせたり保健師と連携をとって支援する。 ・ 保護者の気持ちに配慮しながら、よりそったり見守ったり、また支援していく機関とも連携してサポートしていけるようにしていく。
<p>子どもへの理解 (28件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活が楽しく過ごせるよう、内面的にフォローしていけたらと思います。 ・ スキンシップを多くとり心が安らぐよう努める。 ・ 園でできること(沐浴や保湿など)は細めに行ってあげる食事、おやつを周りの子よりも少し多くあげる。いっぱい話をしたり、コミュニケーションを取る ・ 園にいる際は快適に過ごさせたい。家の様子を聞く際は配慮しながら聞くようにする。 ・ 健康状態を気にかけて、けがや病気の早期発見に努める。顔や体、髪、爪などの汚れが気になる時は保護者の状況を見ながら無理のない範囲で清潔を促し、難しい場合は保育所でできる範囲で整える。(爪を切る、プール時に髪や体を丁寧に洗うなど)給食をおかわりできるようにする。 ・ 健康状態を常にチェックする。※発育等の様子、情緒面の安定はあるか等 家庭での食事状況等。購入できない物品に対して、どのようなフォローが出来るか考慮する ・ 子供に対しては、できるだけ清潔にして(沐浴をさせる。服を着替えさせる。顔や手を洗ってあげるなど)あげることはできるが、他の子もいるので、毎日は無理である。 ・ 子どもの気持ちに寄り浴い、教えられることを指導すること。両親の心の寄り所となれるよう、コミュニケーションをとること。子供の心や身体への変化にいち早く気付くこと。(虐待などの防止) ・ 子どもの気持ちに寄り添う。保護者とのコミュニケーションをとる。 ・ 子どもの気持ちをできるだけ受け止め、落ち着いて過ごせるようにしてあげる。周囲と比較せず、本児の良い所を見つけ伝えてあげる。保護者の思いを聞き、できるだけサポートする ・ 子どもの心のケアや体調管理。保護者の心や生活状況に添った細やかな対応 ・ 子どもの成長発達や家庭の状況を見守ること、気にする事。市役所や小学校にも伝え、長期的に見守り支援して行けるようにつなげる。 ・ 子どもの体調に気を付けていく。市に繋げる。 ・ 子どもの体調や行動に留意し、変化を見逃さないようにする。園用の着替えが多くある時には、さりげない形で、あげる。給食を多めにあげる。 ・ 子どもの話を聞いたり、観察を行い、必要な時には家庭での話を保護者に聞く。 ・ 成長・発達の把握。注意・観察。お下がり等衣服などの譲り受けの橋わたしの役割。受けられる助成や支援について知らせる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ できる限り周りの子と差がつかないように清潔にしたり、給食で栄養をとれるようにする。自分で気を付けられること（身の周りのことなど）を自分でできるようにしていく。 ・ 保育所で過ごす時間がその子にとって有意義になるように努める。関係機関と連携をしながら、その子、家庭を見守っていく。昼食のおかわり分を食べるよう促す ・ まずは子どもの話や家庭の話に耳を傾け、話を聞く。生活の中で身形や服装を整えてあげたり、身の回りの物を清潔にしてあげたりする。他機関との連携をとる。（市の健診に来ているか地域の民生委員、児童相談所等と繋がる）温かい食事を提供する。 ・ 預かる時間は他の児と同じよう愛情を注いだ保育を心掛けています。 また、園児がつまらそうな時は話しやすい場をつくり、気持ちを聞いてあげる。 ・ 園の中では安心して生活でき、集団生活に慣れて、楽しいと思えるような体験をたくさんさせてあげるように心がける。周囲と変わりなく関わっていくことが必要。衛生面は、感染症も流行する時期にはとくにきをつかい関わっていく。 ・ 子供に対しては、関わり合いを多くし、心身ともにみたされる環境を作っていく。 家庭に対しては話を聞いていく事で困っている事などを把握していく。 ・ 子どもにゆったりと関わり情緒の安定を図る 食事や睡眠時間をしっかり把握し給食や休憩時間に対応する。 ・ 子どもの気持ちをまず第一に考え、園児が他園児と差別感を感じないよう配慮する。 ・ 子どものことをよく観察し、きちんと栄養がとれているか、清潔にしているか、何か感染症や細菌に感染していないか等子どもの体のことをよくみてあげることが大切だと思う。同時に、心の面でのケアもしていく。また親から家庭の情報を聞いたり、親の方のケアも、必要だと思う。 ・ 子どもの生活状況の把握をする。また、保護者との面談を行う。（形式ばったものではなく、話しやすいような雰囲気で行う。しかし、園長や主任に同席してもらい公の面談とする。） 市役所等に報告し、社会的救済がなされる糸口を作る。借金では、債務整理と言った方法もあることを伝える等、情報提供を行う。 ・ 子どもの話に耳を傾ける。 ・ 他児と、人権の上で差別などないよう過ごせるよう配慮する。物の購入やお金がかかる時など早目に知らせる。
<p>支援機関への 紹介（5件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的援助ができる機関を教えてあげたり、洋服など保育所、子どもの家庭での不用品などのリサイクルを進めていく。 ・ 助成金の案内 ・ こども食堂や地域支援の情報収集し、すすめる。 ↳園と連携し、試食会などのイベントも実施していただき、行きやすさを感じれる様にする。 ・ 支援機関につながるような助言をする ・ 支援機関の情報提供

<p>食糧支援 (21件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養のある給食を提供できる。夏などのプール時、せっけんなどつかって体を洗い清潔にできる。親が仕事等で忙しい時は親が迎えに来るまで安心して過ごせるように関わりが持てる。 ・ 栄養のとれる食事の提供。 ・ 給食おかわりを食べるようだったら十分にあげる。プール遊びの時期だったら、体を十分に洗う。家庭と連携をはかり、家での様子を細めに把握する。 ・ 給食等で健康的な食生活の補助。市役所等関係機関との連携 ・ 給食などでしっかり栄養がとれるようにする。洗える所を手、顔、体などきれいにしてあげる。児童相談所などに相談する。 ・ 給食のおかわりや量を増やす 保健師に相談し、発育状況に心配がないかを把握。何か優遇措置がないか対応してもらう ・ 給食やおやつで栄養たっぷりのものを存分に食べる。洋服や園服、園帽等のお下がりの提供。園全体で母親への温かな声掛け、一緒に育てているという安心感。 ・ 給食やおやつを少し多めに食べさせるようにする。体を清潔にする（シャワーを浴びせる） ・ 給食を多めにあげる。行政との連携を図るなど。 ・ 給食を多めにする等の配慮。状況に応じて、他の関係機関（児童相談所、ボランティア等）へつなぐ。 ・ 給食をしっかり食べられるように声かけをする。衣服が乱れていたり、汚れていたりした場合、着替えをする。衣服をととのえる。 ・ 食事があまり摂れていない子もいるかと思うので、給食でしっかり栄養をとってほしい。入浴が出来ていない場合は、シャワーなどして清潔にしてあげる。 ・ 食事面、生活面、衛生面でのサポートをしていく。 ・ 園の給食で、より多くの食料に触れ、味わえるようにしてあげたいと思う ・ 給食時等しっかり栄養が摂れているかの把握 園の給食は貧困世帯でなくても大切に考える ・ 給食等、しっかり食べさせてあげる。 家の状況を会話の中からさぐる。子どもに一番良い方向になるようさい善をつくす。 ・ 給食のおかわりがある時は、積極的に食べさせてあげる。 ・ 給食やおやつなど、おかわりをあげてお腹を満たしてあげる。 ・ 給食を多めに食べさせる ・ バランスのとれた食事が提供できる。また体を拭いたりすることで清潔にいられる。保育所にいる間は規則正しい生活リズムで過ごす事ができる。 ・ バランスの良い食事を提供する。日々の子供の状況を細かくチェックし、少しの変化にすぐ気づけるようにする。
<p>用品・生活支援 (53件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服が汚れた際着替えが十分ない時に保育所で衣類を貸せるようにする。 ・ 衣服が汚れていたら園で着替えをする。 ・ 衣服については、園にあるストックで衣服の調整を行ったり、園全体で着なくなった服をあつめ、年に1~2回、バザーを行うなどして、季節にあった服を着ることができるようになる。

- ・ 衣服やオムツ等は園の物を貸すことができる。給食の配膳の量等、その子が十分に食べられるよう対応できる。各関係機関へとつなげていくことができる。
- ・ 衣服を清潔にできるよう配慮する。精神的に満たされるような関わりや言葉がけをする。
- ・ 衣類など古着の提供。(物品も) 家庭環境を理解。支払いなどの分割
- ・ 衣類を清潔なものにかえる。足りない物等を繰り返し伝え本児が過ごしやすいようにする。
- ・ 園で貸すことのできるものは貸す。悩んでいることを話してくる場合は園として相談にのる。
- ・ 園での物品購入ができない場合は、対応出来る範囲で、園のものを借す。食事面では、給食のおかわりをあげる。衣服の汚れがひどい時は、園で手洗いだが洗う。できるだけ清潔に見えるよう、こまめに様子をみる
- ・ 園で必要なものの貸し出し (体操着、園服など)
- ・ 園でもらった衣服など園で使わないものは寄付し、使ってもらう。不衛生と思ったら、園でできる範囲で清潔にする。園で貸し出しできるものは貸し出して使ってもらう。園ではお腹を満たして降園できるようにする
- ・ 園に寄付されたおさがりの洋服を渡す (要望があった際) 給食やおやつを十分食べられるようにする
- ・ 園服、体操着、カバン等園指定のものについては貸し出しをしている。家庭において父母が忙しい場合は、保育時間の中、安定して過ごせるよう配慮、反対に働かずにいる父母については生活リズム改善を進めつつ、育児・生活に前向きになれるよう
- ・ お着替え等の援助をする。給食等で十分な栄養がとれるように配慮する。
- ・ お下がりバンクでの衣類提供。給食の配分をやや多めに取る。長時間の預かり保育
- ・ オムツ等購入が必要なものは早めに伝える。擁護面に欠ける部分を補う (顔や体を拭く等)。忘れ物等で子どもが困ってしまわないよう、園の予備を用意しておく。感情の起伏が激しい子には充分スキンシップを取り愛着関係をつくる。
- ・ おさがりバンクを実施、薦める
- ・ 家庭で用意できない園に必要な物はこちらで用意する。
- ・ 保護者の話や相談、要求をすべて受け入れることはできなくても気持ちに寄り添い受け止めてあげる。
- ・ 体等を拭いて清潔を保つ 着替えを提供する
- ・ 集金をまとめてあげる。頂いた服を、着れる物があれば持っていってもらう。送迎の融通をきかせる。 他
- ・ 身の清潔。食事の提供。園服の貸し出し。
- ・ 生活リズムを整える (基本的な生活習慣) おさがりの服、園服など園に寄付してもらったものを譲る。朝食、おやつをしっかりと食べさせる。
- ・ 清潔が保たれず臭いなどする時には、園で洗たく、風呂など時々してあげる。家庭にもそれとなく清潔について知らせていく。
- ・ 清潔面のフォロー (沐浴など) 不足している道具の貸し出し
- ・ 退所 (卒) 園児の教材を譲る (古着など)
- ・ 小さくなって着られなくなった物、まだ使える物等リサイクルバザーを行う。母親の経済力、社会性の問題がありそうな時 (場合) は相談やアドバイスをする。原因がネグレクトによる物であれば児童相談所、公的機関に通告し確認してもらう。
- ・ 使わなくなった服を集めてあげる。保育料、洗たく料 無料

- ・ 日々の健康面をしっかりと把握し、安全に配慮する
- ・ 服装なども寒くないよう保育園のものを貸す。
- ・ 服などの提供 給食の量の調整
- ・ 不足している持ち物で、園で貸してあげられる物は貸し出す。保護者との話し合いを持ち、集金などのタイミングを待つ。給食の量、食べ方などを見守る。本人にあまり気づかれないよう何気なく家庭の様子を聞く。体の異常、衣服の汚れなど気にしてあげる。
- ・ 保育所で使用する用具等（園服など）を、使わなくなった家庭からいただく。月刊絵本は保育所のもので対応する
- ・ 保育所に寄付されている園服・体育着等を借す。状況により他機関へも相談する。
- ・ 他の家族からもらった着なくなった衣服などをゆずる。
- ・ 捕食や給食を調節する。衣類の提供。必要な情報を提供する。子どもを守る為に児童相談所など各機関との連携を更に図り早期に発見し連絡をしていかなければならないと思う。実際見極めが困難で通報が難しい。
- ・ 沐浴やプール前後のシャワーで清潔にしてあげる。昼食 おかわりさせてあげる。いつでも気軽に相談できるような環境や信頼関係を築いていく。
- ・ 洋服のお下がりなど、よい物があるとゆずったりした。子どもにしてあげたい気持ちはあるが、保護者が努力していない面もよく見受けられる。とても難しい（してもらう事に段々と慣れてきたりする人もいる）。しかし、状況が深刻な場合は保育所だけでなく、市と連携を取り対応していく必要があると思う。
- ・ 汚れている服を着てきたら園で着替えさせる。（貧困世帯が全て、子どもへの子育てに配慮が行き届いていないとは限らないと思った。）保育士や友だちとの関わりを多くし、甘えさせてあげたりして本児の思いを受けとめる。（その子びいきをするのではない）
- ・ 沐浴や衣服の洗濯など清潔を心がける お腹を満たすことでできるように十分な食事を与える
- ・ 園服やジャージ等保護者が用意する物を卒園児からいただいた物を譲渡あるいは借し出す ☆絵本等、買うのではなく、園用の物を使用する
- ・ 衣服が薄くて寒そうだったり、ふとんが寒く感じるほど薄かったりする時は調整している。
- ・ 衣服や持ち物がひどく汚れていたら洗濯してあげたり、体が汚れていたり（入浴などしていない）場合はボディソープなどを使いきれいに洗ってあげる
- ・ 園で、できる事、洗濯、着替えの用意等はする
- ・ 園で貸す事ができる物は貸す。押さえられる出費はできるだけ押さえる。等（写真代等。）
- ・ 園で借せる物は借してあげたり、園に合っても使わない物は提供したりする。
- ・ 園で体を清潔にしたり、安心して過ごせるよう考えていくことはできると思います。
- ・ 園服など購入するものは、可能であるものは貸し出しをする。
- ・ 園服や体操着など新品購入が難しい場合、卒園児家庭より譲っていただいた物を差し上げたりと配慮していければと思います。
- ・ 園服や通園バックなど購入する物を卒園児などからもらうなど出費ができる限り少なくなるよう援助する。髪の毛をゴムでしばってあげる等、身なりを整えてあげる。
- ・ 園用品などの不用品の提供。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着なくなった衣服をもらった際、声を掛けてあげたりする。フードバンクを紹介する。 ・ 使わなくなった洋服、教材等、自由に使えるような場を作る。 ・ 金銭面での負担を減らせるよう考慮する。
<p>家庭環境の調査 (3件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭状況についての相談をうける。その上で、市役所等へつなげていけるようにしていきたいと思う。子どもの衣類類など、園で頂いたものを使ってもらえるような支援ができると思う ・ 両親又は片方の親に家庭での様子を聞き、相談出来る場を作り、園で協力できる事、又家庭でできる所まではしっかり行ってもらう子どもが子どもらしく過ごせる場を作り、常に把握していく ・ 家庭環境をしっかりと把握し、連携して対応していく。
<p>園内での連携 (25件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援や行政で行っている事などを教えてあげたり、保育所全体がその子を援助、手助けが出来る様な環境作りをする。 ・ 園では清潔に保てるように援助する。親の無理のないように声を掛けていく ・ 園へもってきてもらうものを減らして、園でも援助する（紙パンツなど）。フードバンク等へつなげていく。 ・ 開所時間（平日・土曜日共）目一杯預かる。（保護者が安心して働けるように）保護者との信頼関係を築く。児に十分な愛情をそそぐ。保護者の話をじっくり聞く。児の清潔を保つ。園で用意できるものがあれば貸す。食事を十分に与える。 ・ 子どもや保護者に傾聴して行く中で、家庭が抱えているこんなんや背景に気づき気持ちに配慮しながら寄り添って見守っていくこと。園長先生・他の職員との連携を持ち、園としてできることを話し合い、支援へと繋げていくこと。 ・ 職員会議などでの情報共有。虐待が疑われる時は通報。関係機関につなげる（今はわからない、知らないが…）。保健師さんへの相談。 ・ 職員間で情報を共有し、その子を見守れる目を増やすこと。利用できそうな機関・窓口を紹介すること ・ 保育所内で子どものおかれている状況を共有して対応してあげることができる ・ まずは園長先生や回りの先生に相談する。 ・ 園全体で話し合いその子にあった対応をしたい 市の保健士に相談していく ・ 園長、主任と相談し個別に保護者との面談を設ける。保護者が困っている状況であれば必要機関との連携をとるが、困っていなかったりするようであれば日々の対応の中で話をきいていく。 ・ 親が働きやすい様保育時間について考慮する。園で使う物品などに関してあまり負担にならないよう考慮する ・ 親の仕事状況に合わせて、保育時間を延長するなど。 ・ クラスだけの問題にせず、所長先生、主任先生らへの相談を行い園児の様子に周りが気がつけるような環境を作ることが必要ではないか…と思う。 ・ 状況を把握し園内で話し合い必要に応じて他の機関につなげる。 ・ 職員会で情報を共有し、些細なことでも見のがさないようにする。役場などにすぐ連絡をする。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 職員間での情報の共有 丁寧な対応・ すみやかに園長に報告し対応する。子どもの様子を観察する。さみしい思いをしないよう温かく接する。・ 全職員で園児の情報を把握し、保護者の負担にならないような対応や話し方ができるようにしていく。・ 担当がそのように感じた時は1人で抱えず、全体でどのように対応していくか話し合いを重ねていく必要があると思う。そこから家庭とも連携をとれるようにする。難しい問題であるので慎重に進めていく。・ 早・遅の時間を活用して、労働時間を増やせるよう協力する。・ 保健士、園長、主任などと相談しながら園内では安心してすごせる場を作り家庭との練絡を取り改善されるように常に子どもの状態を注意して見ていく・ まず、園長や主任に相談する。・ まず園長に報告し実体を把握する。清潔な衣服（園所有）などを貸し出せることを保護者に伝える。園は相談窓口になれることも伝える。・ ひきつづき、送迎時間の希望時間に受け入れ安心してすごせる環境づくり |
|---|